東証：4502
TAK
LISTED
NYSE

成長と株主還元へのコミットメント

2023年度第3四半期決算発表

2024年2月1日

Better Health, Brighter Future

重要な注意事項

本注意事項において、「プレゼンテーション（presentation）」とは、本プレゼンテーションに関して武田薬品工業株式会社（以下、「**武田薬品**」）によって説明又は配布された本書類並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本プレゼンテーション（それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本プレゼンテーションにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法の登録又は登録免除の要件に基づいて行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本プレゼンテーションは、（投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく）情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で（受領者に対して提供される追加情報と共に）提供されております。
当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあり得ます。同様に、「当社（we、us及びour）」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

本プレゼンテーションに記載されている製品名は、武田薬品又は各所有者の商標又は登録商標です。

将来に関する見通し情報
本プレゼンテーション及び本プレゼンテーションに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする（targets）」、「計画する（plans）」、「信じる（believes）」、「望む（hopes）」、「継続する（continues）」、「期待する（expects）」、「めざす（aims）」、「意図する（intends）」、「確実にする（ensures）」、「だろう（will）」、「かもしれない（may）」、「すべきであろう（should）」、「であろう（would）」、「かもしれない（could）」、「予想される（anticipates）」、「見込む（estimates）」、「予想する（projects）」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。
これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、世界的な医療制度改革を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機が、武田薬品が事業を行う国の政府を含む武田薬品とその顧客及び供給業者又は武田薬品の事業の他の側面に及ぼす影響、買収対象企業とのPMI（買収後の統合活動）の時期及び影響、武田薬品の事業にとっての非中核資産を売却する能力及びかかる資産売却のタイミング、当社による省エネルギーへの取り組み及び将来の再生可能エネルギー又は低炭素エネルギー技術の発展による当社の温室効果ガス排出量の削減の程度、武田薬品のウェブサイト（https://www.takeda.com/jp/investors/sec-filings-and-security-reports/）又はwww.sec.govにおいて閲覧可能な米国証券取引委員会に提出したForm 20-Fによる最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本プレゼンテーションに含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本プレゼンテーションにおける武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

財務情報及び国際会計基準に準拠しない財務指標
武田薬品の財務諸表は、国際会計基準（以下、「IFRS」）に基づいて作成されております。
本プレゼンテーションには、Core売上収益、Core営業利益、Core当期利益、Core EPS、CER（Constant Exchange Rate：恒常為替レート）ベースの増減、純有利子負債、EBITDA、調整後EBITDA、フリー・キャッシュ・フローのように、IFRSに準拠しない財務指標が含まれています。当社経営陣は業績評価並びに経営及び投資判断を、IFRS及び本プレゼンテーションに含まれるIFRSに準拠しない財務指標に基づいて行っています。IFRSに準拠しない財務指標においては、最も良く対応するIFRS財務指標では含まれることとなる、又は異なる数値となる一定の利益、コスト及びキャッシュ・フロー項目を除外しております。IFRSに準拠しない財務指標を提供することで、当社経営陣は、投資家の皆様に対し、武田薬品の経営状況及びCore業績の更なる分析のための為替変動の影響を含む付加的な情報を提供したいと考えております。IFRSに準拠しない財務指標は、IFRSに準拠するものではなく、付加的なものであり、また、IFRSに準拠する財務指標に代替するものではありません（IFRSに準拠する財務指標を「財務ベース」指標として参照している場合があります）。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、本プレゼンテーションの巻末に掲載した財務補足情報にて、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との照合を行っていただけますようお願い申しあげます。

為替
本プレゼンテーションでは、特に断りのない限り、利用者の便宜のために、日本円で表示された一部の金額をニューヨーク連邦準備銀行が2023年12月29日に認定した正午時点の買値レートである1米ドル＝140.92円で米ドルに換算しています。これらの便宜的な換算に使用された買値レート及び換算方法は、当社の連結財務諸表に使用されるIFRSの換算レート及び換算方法とは異なります。これらの便宜的な換算は、関連する日本円の金額が当該買値レート又は他のレートで米ドルに換算されうることを示すものではありません。

医療情報
本プレゼンテーションには、製品に関する情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではなく、また国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

AGENDA

Introduction

クリストフ・ウェバー
代表取締役社長 CEO

パイプラインアップデート

アンディー・プランプ
リサーチ＆デベロップメント
プレジデント

財務報告

コスタ・サルウコス
チーフ フィナンシャル オフィサー

質疑応答

2023年度第3四半期：通期マネジメントガイダンスに向け想定通りに進捗

成長製品・新製品の力強い勢い

- 成長製品・新製品の売上収益**+12.7%成長（CERベース）**[1]
  売上収益の43%を占める
- 米国におけるVYVANSEを含む独占販売期間満了による大幅な
  マイナス影響を受けたものの、第3四半期累計の連結売上収益は
  +0.0%成長（CERベース）
- Core営業利益は、利益率が高い製品の独占販売期間満了による影響と
  研究開発およびデータ＆テクノロジーへの投資を反映
- 財務ベースの営業利益およびEPSは、第2四半期に大部分を計上した
  無形資産の減損損失を含むノン・コアの項目に関する要因が影響

通期マネジメントガイダンスは変更なし

- 通期マネジメントガイダンス（CERベースの増減率）は変更なし
  独占販売期間満了による大幅なマイナス影響、新型コロナウイルス
  ワクチンの減収（対前年）、長期的な競争力を確保するための研究開発
  およびデータ＆テクノロジーへの投資を反映

2023年度第3四半期累計 業績サマリー

（億円、EPSを除く）

	財務ベース		CORE[2]		
	2023年度 第3四半期累計	実勢レートベース 増減率（%）	2023年度 第3四半期累計	実勢レートベース 増減率（%）	CER[1]ベース 増減率（%）
売上収益	**32,129**	+4.6%	**32,129**	+4.6%	**+0.0%**
営業利益	**2,241**	△44.2%	**8,656**	△9.3%	**△12.7%**
EPS	**94円**	△48.9%	**412円**	△9.7%	**△12.9%**

2023年度通期マネジメントガイダンス

（2023年5月から変更なし）

	CORE増減率（CERベース）
売上収益	**一桁台前半%の減少**
営業利益	**10%台前半の減少**
EPS (円)	**20%台前半の減少**

1. Constant Exchange Rate：恒常為替レート。定義はA-1ページをご参照下さい。
2. 定義はA-1ページ、調整表はA-7、A-9ページをご参照下さい。

第2四半期以降、米国における2つの新規候補物質を含め複数の承認を取得

2023年11月に米国食品医薬品局（FDA）により承認された2つの新規候補物質

Fruzaqla™ (fruquintinib) capsules

治療歴を有する転移性大腸がん（mCRC）[1]を対象に、
バイオマーカーのステータスにかかわらず使用可能
過去10年以上の間で初めてかつ唯一承認された
分子標的治療薬

ADZYNMA ADAMTS13, recombinant-krhn

非常に希少な血液凝固障害である
先天性血栓性血小板減少性紫斑病（cTTP）に対する
初めてかつ唯一の遺伝子組換えADAMTS13酵素補充療法

成長製品・新製品の重要なライフ・サイクル・マネジメントに関する承認

LIVTENCITY™ (maribavir) tablets 200mg

中国において、移植後の難治性
サイトメガロウイルス（CMV）
感染/感染症の治療薬として承認

TAKHZYRO (lanadelumab-flyo) injection

欧州において、
小児の遺伝性血管性浮腫
（HAE）を対象に承認

HyQvia Human Normal Immunoglobulin (10%) Recombinant Human Hyaluronidase

FDAおよび欧州委員会が
慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（CIDP）
を対象とした維持療法として承認

GAMMAGARD LIQUID [Immune Globulin Intravenous (Human)] 10%

FDAがCIDPの治療薬
として承認

事業開発を通じて後期開発段階のパイプラインを拡充

- 真性多血症（PV）を対象に臨床第3相試験を実施中のRusfertideについて、 Protagonist Therapeutics社と全世界を対象とした開発および商業化に関するライセンス・提携契約

1. フルオロピリミジン、オキサリプラチン、およびイリノテカンを含む化学療法、抗VEGF療法、および抗EGFR療法（RAS野生型で医学的に適切な場合）の治療歴がある転移性大腸がん（mCRC）成人患者さんに対しての承認

ENTYVIO Pen（皮下投与製剤）とQDENGAの上市戦略に注力

ENTYVIO：米国における炎症性腸疾患（IBD）の市場シェアで第1位を維持

- 2023年度第3四半期累計売上収益は+7%成長であり、IBDの市場全体の伸びを上回る成長を継続
- 米国におけるIBDの市場全体および生物学的製剤ナイーブの患者さんへ新規に処方された治療薬の両方で市場シェア第1位を維持
- 潰瘍性大腸炎に対するENTYVIO Penは2023年11月に上市済み
  - 維持療法において静脈注射と皮下投与の両方の選択肢を持つ唯一の先発品治療薬
  - 皮下投与製剤による治療は、米国における炎症性腸疾患治療全体の約35-40%を占めると推定
  - ENTYVIO Penへの関心は高く、フォーミュラリーへの組み入れが拡大
  - 皮下投与を好む新たな医師・患者層に浸透しはじめる
  - ENTYVIO Pen のクローン病に対する米国承認は2024年度早期を想定
- 欧州における投与患者数の伸びは10%台半ばを維持

QDENGA：流行国および渡航者用ワクチン市場で好調な立ち上がり

- インドネシア、ブラジル、タイ、直近ではアルゼンチンで上市し、民間市場で高い初期需要を確認
- 2023年12月、医療技術の導入に関するブラジルの国家委員会であるThe National Commission for the Incorporation of Health Technologies（CONITEC）は、国家予防接種プログラムへのQDENGAの組み入れを推奨
- 政府による予防接種プログラムへの組み入れに向け、他の流行国政府とも建設的な協議を継続
- 欧州17ヵ国で接種可能。現在までに発表された様々な渡航勧告では、デング熱流行地域への渡航者の感染予防にQDENGAの使用が推奨されている
- 政府、企業、民間団体（NGO）、製造業者を含めた民間および公的機関とのパートナーシップを推進し、アクセスの拡大を図る

成長と株主還元へのコミットメント

短期 （2024-2025年度）	中期 （2026年度-2030年代初頭）	長期 （2030年代以降）
売上収益・利益・利益率の成長へ回帰		
成長製品・新製品の持続的な拡大		
革新的な後期開発パイプラインのさらなる上市		
ENTYVIOのバイオシミラーが上市されるまで独占販売期間満了の影響は限定的		
	約30の新規候補物質からなる開発パイプラインを含めた、強固な研究開発戦略のさらなる貢献	

- **Core営業利益率30%台前半から半ばへの回復**
- **データ、デジタル、テクノロジーの活用による生産性の向上**
- **候補物質にターゲットを絞った事業開発を継続し、パイプラインを強化**
- **毎年の年間配当金を増額または維持する累進的な配当方針**

AGENDA

Introduction

クリストフ・ウェバー
代表取締役社長 CEO

パイプラインアップデート

アンディー・プランプ
リサーチ＆デベロップメント
プレジデント

財務報告

コスタ・サルウコス
チーフ フィナンシャル オフィサー

質疑応答

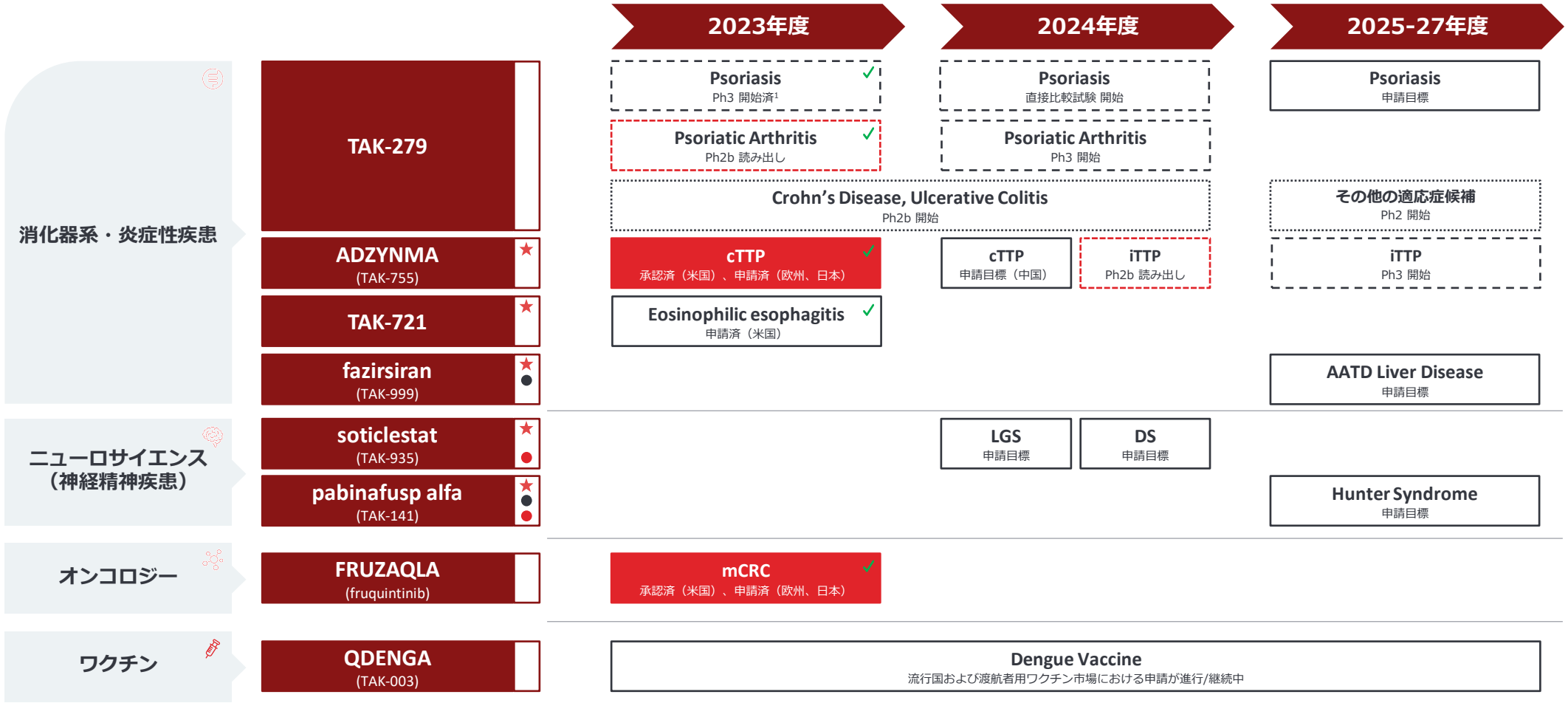
2023年度第2四半期以降の主なパイプラインアップデート

パイプライン	**ADZYNMA**（TAK-755, rADAMTS13）	• 米国において先天性血栓性血小板減少性紫斑病（cTTP）に対する初めてかつ唯一の酵素補充療法として承認
	FRUZAQLA（fruquintinib）	• 米国において治療歴を有する転移性大腸がん（mCRC）を対象に承認。治療歴を有する転移性大腸がん（mCRC）[1]を対象に、バイオマーカーのステータスにかかわらず使用可能な、過去10年以上の間で初めてかつ唯一承認された分子標的治療薬
	TAK-279	• LATITUDE Psoriasis（乾癬）プログラムを開始：2つの臨床第3相試験において患者登録を実施中 • 活動性乾癬性関節炎を対象とした臨床第2b相試験の良好な結果を、米国リウマチ学会において発表 • クローン病および潰瘍性大腸炎を対象とする、より高用量での臨床第2b相試験の試験デザインについて米国食品医薬品局（FDA）と方向性を確認
成長製品・新製品	**HYQVIA** **GAMMAGARD** **CUVITRU**	• 米国および欧州においてHYQVIAが成人の慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（CIDP）の維持療法として承認最長で1ヵ月に1回の間隔で投与が可能な唯一の皮下注用免疫グロブリン（SCIG）製剤 • 米国においてGAMMAGARD LIQUID が成人CIDPの治療を対象に承認 • 欧州においてCUVITRUが続発性免疫不全症候群（SID）を対象に承認
	TAKHZYRO	• 欧州医薬品庁（EMA）より2歳以上の小児の遺伝性血管性浮腫（HAE）を対象に承認取得
	LIVTENCITY	• 中国において成人の難治性移植後サイトメガロウイルス（CMV）感染／感染症に対する初の治療薬として承認 • 日本において移植後CMV感染／感染症の患者さんに対する治療薬として申請
事業開発	**Rusfertide（PTG-300）**	• 真性多血症（PV）を対象にピボタル臨床第3相試験を実施中の、ヘプシジンミメティック注射剤候補であるRusfertideについて、Protagonist Therapeutics社と全世界を対象とした開発および商業化に関するライセンス・提携契約 • PVは、米国で16万人もの患者さんが罹患する希少な慢性血液疾患

疾患名の略語用語集は参考資料をご参照ください。

1. フルオロピリミジン、オキサリプラチン、およびイリノテカンを含む化学療法、抗VEGF療法、および抗EGFR療法（RAS野生型で医学的に適切な場合）の治療歴がある転移性大腸がん（mCRC）成人患者さんに対しての承認

希少疾患とより有病率が高い疾患に対し、革新的な治療薬の開発を推進



★ 少なくとも1つの適応症において、希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）指定
● 少なくとも1つの適応症において、ブレークスルーセラピー指定（米国）、PRIME指定（欧州）
● 少なくとも1つの適応症において、先駆け審査指定（日本）、ブレークスルーセラピー指定（中国）
後期開発プログラム：ピボタル試験の段階またはプルーフ・オブ・コンセプトを達成プログラム

✓ マイルストン達成
臨床第2相試験開始
プルーフ・オブ・コンセプト/用量設定
臨床第2相試験データ読み出し
ピボタル試験開始目標/臨床第3相試験開始
申請目標：承認申請の予想時期
承認

1. TAK-279 臨床第3相試験（乾癬）clinicaltrials.gov：NCT06088043, NCT06108544
全てのタイムラインは2024年2月1日時点におけるおおよその予測で、変更される場合があり、また臨床試験・承認申請の結果に左右されます。表中の研究開発マイルストンは包括的なものではありません。疾患名等の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

主要な中期開発プログラムの重要なデータ読み出し

プルーフ・オブ・コンセプト（POC）：POCの達成は、ピボタル試験または後期開発プログラムを開始するのに十分な臨床データが得られたことを意味する。
臨床試験データの「読み出し」とは、以下のいずれかの場合を指す：
（1）該当する臨床データの取得、（2）取得した臨床データに対する必要な分析およびレビューの完了、（3）（要請される場合または通常の慣例や実務慣行に基づく場合）取得したデータについて該当する規制当局との協議
読み出しが複数のPOC試験に関連する適応症クラス（例、固形がん）を指す場合は、以下のいずれか早い方のタイミング：
（1）当該適応症クラス初めてのPOC達成、または（2）当該適応症クラスにおける全てのPOC試験の結果を取得

- 主な早期段階のマイルストン
- プルーフ・オブ・コンセプトのデータ読み出し目標
- ★ 少なくとも1つの適応症において、希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）指定
- ● 少なくとも1つの適応症において、先駆け審査指定（日本）、ブレークスルーセラピー指定（中国）
- ✓ マイルストン達成

全てのタイムラインは2024年2月1日時点におけるおおよその予測で、変更される場合があり、また臨床試験・承認申請の結果に左右されます。表中の研究開発マイルストンは包括的なものではありません。疾患名等の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

2023年度：新規候補物質および適応拡大による複数の承認取得の可能性

主な承認の可能性	ENTYVIO SC	潰瘍性大腸炎（UC） クローン病（CD）	米国　承認 日本　承認	✓ ✓
	QDENGA	デング熱ワクチン	米国　承認[1] 流行国[2]	× ✓
	ADZYNMA（TAK-755）	先天性血栓性血小板減少性紫斑病（cTTP）	米国　承認	✓
	FRUZAQLA（fruquintinib）	転移性大腸がん（mCRC）	米国　承認	✓
	TAK-721	好酸球性食道炎（EoE）	米国　承認	
	TAKHZYRO	小児の遺伝性血管性浮腫（HAE）	欧州　承認	✓
	HYQVIA	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（CIDP）	米国　承認 欧州　承認	✓ ✓
	HYQVIA	HyHub AVA[3]デバイス	米国クリアランス[4]	→
	HYQVIA	小児の原発性免疫不全症候群（PID）	米国　承認	✓
	GAMMAGARD LIQUID	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（CIDP）	米国　承認	✓
主な臨床第3相試験/ピボタル試験読み出し	ALOFISEL	複雑痔瘻	臨床第3相試験（米国）	×
	maralixibat	アラジール症候群（ALGS） 進行性家族性肝内胆汁うっ滞症（PFIC）	臨床第3相試験（日本） 臨床第3相試験（日本）	✓ ✓

1. 米国で承認申請を自主的に取り下げ。
2. 2023年4月にアルゼンチン、2023年5月にタイ、2023年9月にコロンビアにおいて承認済み。
3. HyHub：使い捨ての改良型無菌バイアルアクセス医療デバイスで、HYQVIAのバイアルから皮下組織への投与を簡便化。
4. 承認申請を取り下げ、再申請に向けた方向性を確認。

✓ マイルストン達成
→ マイルストン遅延
× マイルストン未達成

臨床試験データの「読み出し」とは、以下のいずれかの場合を指す：
（1）該当する臨床データの取得、（2）取得した臨床データに対する必要な分析およびレビューの完了、（3）（要請される場合または通常の慣例や実務慣行に基づく場合）取得したデータについて該当する規制当局との協議

全てのタイムラインは2024年2月1日時点におけるおおよその予測で、変更される場合があり、また臨床試験・承認申請の結果に左右されます。表中の研究開発マイルストンは包括的なものではありません。疾患名等の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

2024年へと続くパイプラインモメンタム

	2023年度第4四半期	2024年度上半期
承認可能性 臨床第3相試験 読み出し	**TAK-721 – EoE** 承認（米国）	**ENTYVIO SC – CD** 承認（米国）
	ICLUSIG – 1L Ph+ ALL[1] 承認 (米国)	**Soticlestat – DS** 臨床第3相試験 データ読み出し[2]
		Soticlestat – LGS 臨床第3相試験 データ読み出し[2]
TAK-279 の開発	**Psoriasis** 2つの臨床第3相試験 患者登録	**Psoriasis** Deucravacitinibとの直接比較試験 開始
	Crohn's Disease 臨床第2b相試験 開始	**Psoriatic Arthritis** 2つの臨床第3相試験 開始
		Ulcerative Colitis 臨床第2b相試験 開始
主な中期開発 プログラムの転換点	**TAK-861 – NT1** 臨床第3相試験への進展を判断	**Mezagitamab – ITP** 臨床第3相試験への進展を判断
	TAK-861 – NT2 臨床第3相試験への進展を判断	**Mezagitamab – IgAN** 臨床第3相試験への進展を判断
		TAK-360 – 次世代オレキシン 臨床第1相試験 開始

1. ICLUSIGの1L Ph+ ALLはFDAの優先審査対象。
2. Soticlestatの臨床第3相試験ではDSおよびLGSの患者登録を完了。 当社は両試験の適正な評価を確保するため臨床第3相試験の結果を同時に公表する予定。

全てのタイムラインは2024年2月1日時点におけるおおよその予測で、変更される場合があり、また臨床試験・承認申請の結果に左右されます。表中の研究開発マイルストンは包括的なものではありません。
疾患名等の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

AGENDA

Introduction ..... クリストフ・ウェバー
代表取締役社長 CEO

パイプラインアップデート ..... アンディー・プランプ
リサーチ＆デベロップメント
プレジデント

財務報告 ..... **コスタ・サルウコス**
チーフ フィナンシャル オフィサー

質疑応答

2023年度第3四半期：通期マネジメントガイダンスに向け想定通りに進捗

2023年度第3四半期累計（4-12 月）

トップライン

- **売上収益 32,129億円（228億米ドル）[1] 横ばいの+0.0%成長（CER[2]ベース）** 実勢レートベースで+4.6%成長
- **成長製品・新製品+12.7%成長（CERベース）** 売上収益全体の43%を占める

利益率

- **Core営業利益 8,656億円（61億米ドル）[1、3]** Core営業利益率は26.9%
- **財務ベース営業利益 2,241億円（16億米ドル）[1]** 第2四半期に大部分を計上したノン・コアの項目に関する要因が影響
- **Core EPS 412円** 財務ベースEPS 94円

キャッシュ・フロー

- **営業活動によるキャッシュ・フロー 4,378億円（31億米ドル）[1]**
- **フリー・キャッシュ・フロー 363億円[4]** TAK-279の取得およびfruquintinibの導入を含む支出2,855億円を反映
- **加重平均金利は約2%から1.6%に低下** 2023年度第3四半期累計で15億ドルの負債返済による

2023年度通期見通し

- **通期マネジメントガイダンス（CERベースのCore増減率）は変更なし**
- **通期業績予想に変更はないものの、現在の為替水準が継続した場合は、売上収益およびCore営業利益が上振れる可能性[5]**

1. 為替レートに関する免責事項は2ページをご参照下さい。
2. Constant Exchange Rate：恒常為替レート。定義はA-1ページをご参照下さい。
3. Core財務指標の定義はA-1ページ、調整表はA-7、A-9ページをご参照下さい。
4. 定義はA-1ページ、調整表はA-11ページをご参照下さい。
5. 為替感応度はA-19ページをご参照ください。

2023年度第3四半期累計：
売上収益は、独占販売期間満了による大幅なマイナス影響を受けたもののCERベースで横ばい
財務ベース営業利益と当期利益は、ノン・コアの項目に関する要因が影響

2023年度第3四半期累計（4-12月） 連結業績（サマリー）

（億円、EPSを除く）	財務ベース		CORE[1]		
	2023年度 第3四半期累計	実勢レートベース 増減率（%）	2023年度 第3四半期累計	実勢レートベース 増減率（%）	CER[2]ベース 増減率（%）
売上収益	32,129	+4.6%	32,129	+4.6%	**+0.0%**
営業利益	2,241	△44.2%	8,656	△9.3%	**△12.7%**
営業利益率	*7.0%*	*△6.1pp*	*26.9%*	*△4.1pp*	
当期利益	1,471	△48.6%	6,436	△9.0%	**△12.2%**
EPS	94円	△48.9%	412円	△9.7%	**△12.9%**

営業活動による キャッシュ・フロー	4,378	△36.0%
フリー・キャッシュ・フロー[3]	363	△93.8%

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資本における期ずれ影響およびVyvanseの独占販売期間満了によるキャッシュ・フローの減少を反映
- フリー・キャッシュ・フローは、TAK-279の取得およびFRUZAQLA（fruquintinib）の導入を含む無形資産の取得による支出2,855億円を反映

1. Core財務指標の定義はA-1ページ、調整表はA-7、A-9ページをご参照下さい。
2. Constant Exchange Rate：恒常為替レート。定義はA-1ページをご参照下さい。
3. 定義はA-1ページ、調整表はA-11ページをご参照下さい。

成長製品・新製品の売上収益は+12.7%成長（CERベース）
売上収益全体の43%を占める

2023年度 第3四半期累計 売上収益	消化器系疾患	希少疾患	血漿分画製剤（PDT）免疫疾患	オンコロジー	ニューロサイエンス（神経精神疾患）	その他
	対売上収益比：29% 対前年比：+4%	対売上収益比：18% 対前年比：+3%	対売上収益比：19% 対前年比：+16%	対売上収益比：11% 対前年比：△2%	対売上収益比：15% 対前年比：△6%	対売上収益比：8% 対前年比：△28%
成長製品・新製品	Entyvio vedolizumab +7% ALOFISEL +18%	TAKHZYRO (lanadelumab-flyo) injection +12% LIVTENCITY (maribavir) tablets 200mg +79% ADZYNMA ADAMTS13, recombinant-krhn 新製品	GAMMAGARD LIQUID / HyQvia / Cuvitru IMMUNOGLOBULIN +18% Flexbumin / HUMANALBUMIN ALBUMIN +7%	ALUNBRIG BRIGATINIB +30% EXKIVITY mobocertinib[2] +44% Fruzaqla (fruquintinib) capsules 新製品		Qdenga Dengue Tetravalent Vaccine (Live, Attenuated) 新製品
その他主要製品	Takecab/Vocinti® Gattex/Revestive®	Advate® Adynovate/Adynovi® Vonvendi® Elaprase® Vpriv® Replagal®（欧州、日本）	Glassia® Aralast®	Ninlaro® Iclusig® Adcetris®（北米を除く） Leuprorelin Zejula®（日本） Cabometyx®（日本） Vectibix®（日本）	Vyvanse® Trintellix®（米国、日本）	Azilva®（日本） Spikevax®（日本） Nuvaxovid®（日本）

2023年度第3四半期累計売上収益　計13,847億円（98億米ドル[1]）、昨年度比増分 2,166億円（15億米ドル[1]）

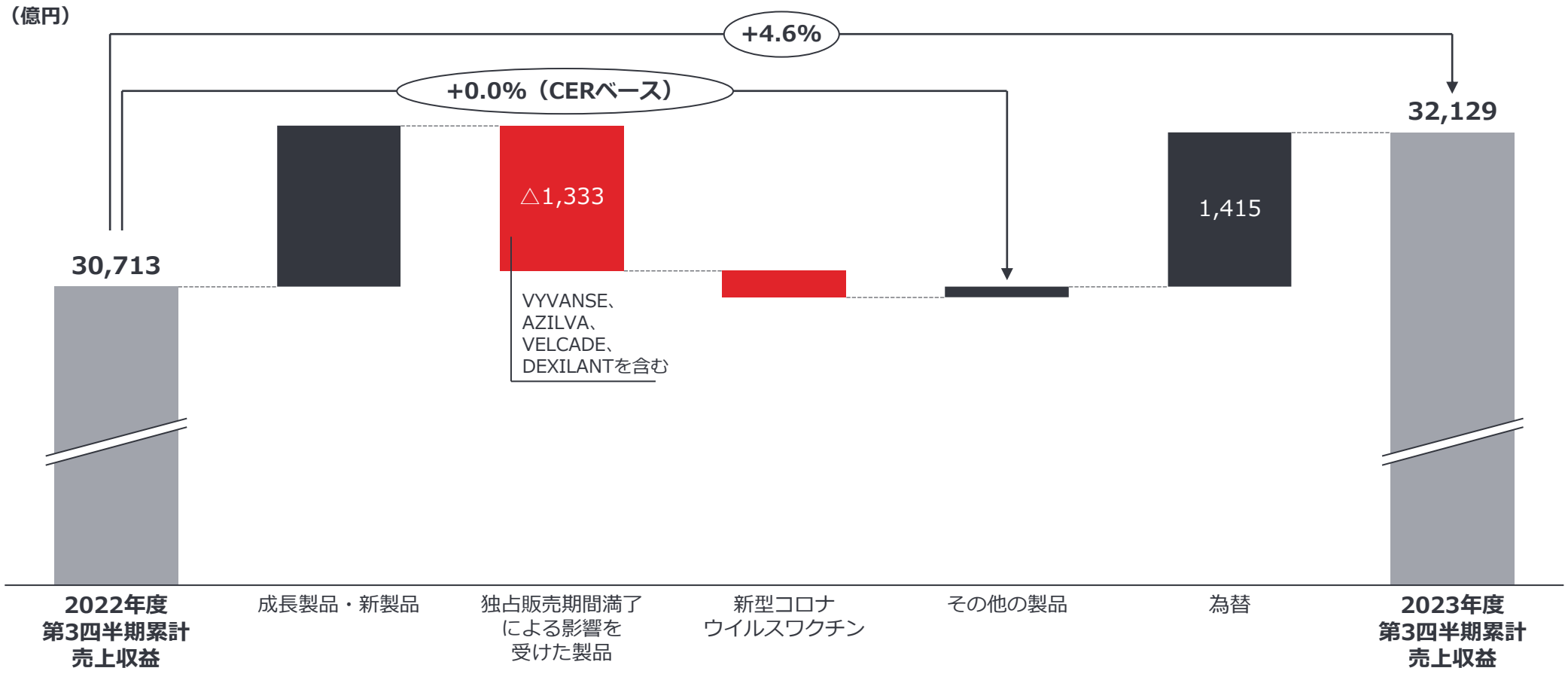
全ての成長率は2023年度第3四半期累計のCERベースの対前年比を小数点以下で四捨五入したものです。定義はA-1ページをご参照下さい。

1．為替レートに関する免責事項は2ページをご参照下さい。

2．2023年10月2日、EXCLAIM-2検証試験の結果に基づき、当社は全世界でEXKIVITYの自主的な取り下げを開始予定であることを公表しました。

独占販売期間満了による大幅なマイナス影響を受けたものの第3四半期累計の売上収益成長（CERベース）は横ばい

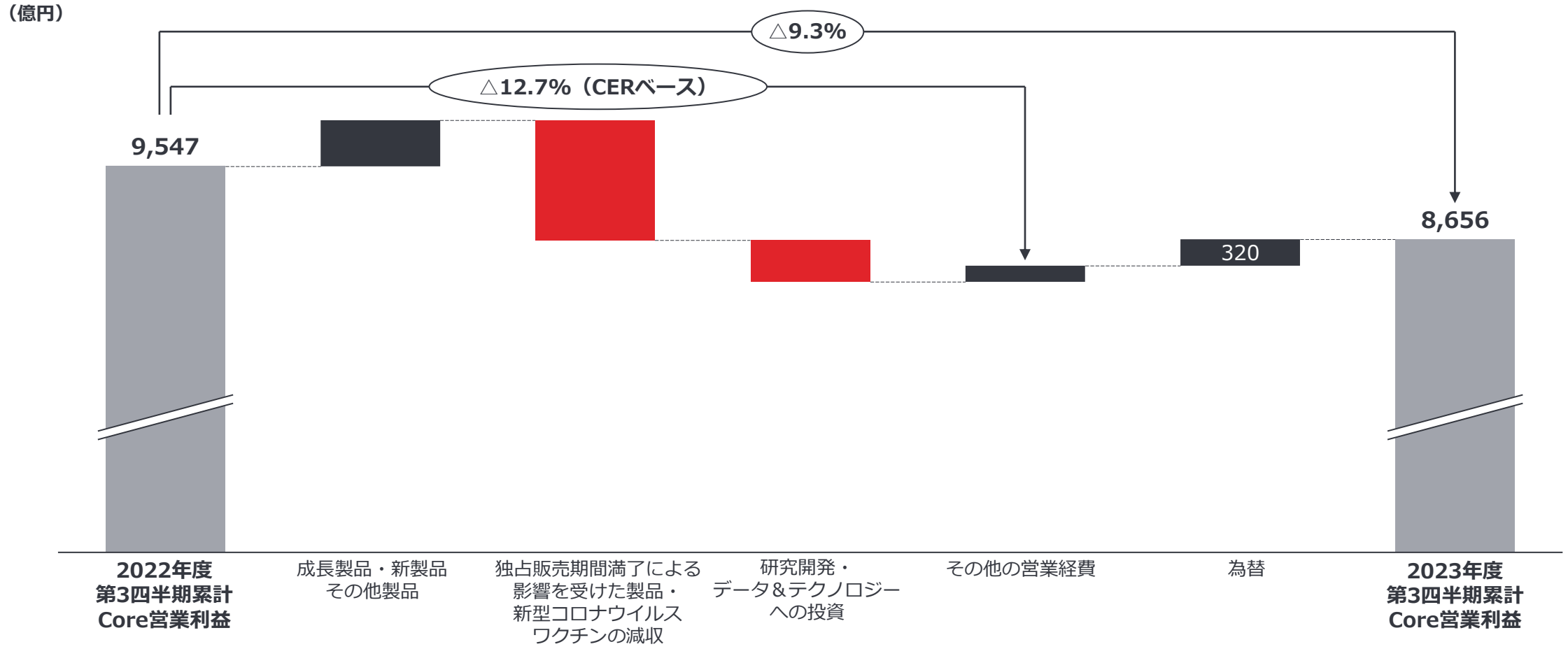
2023年度第3四半期累計 売上収益（対前年度）



上記は参考図
2023年度第３四半期累計と2022年度第３四半期累計の比較において、財務ベース売上収益からCore売上収益への調整が発生しなかったため、いずれの年度も財務ベース売上収益とCore売上収益は同額です。

Core営業利益は、利益率が高い製品の独占販売期間満了、新型コロナウイルスワクチンの減収および研究開発とデータ＆テクノロジーへの投資の増加が影響

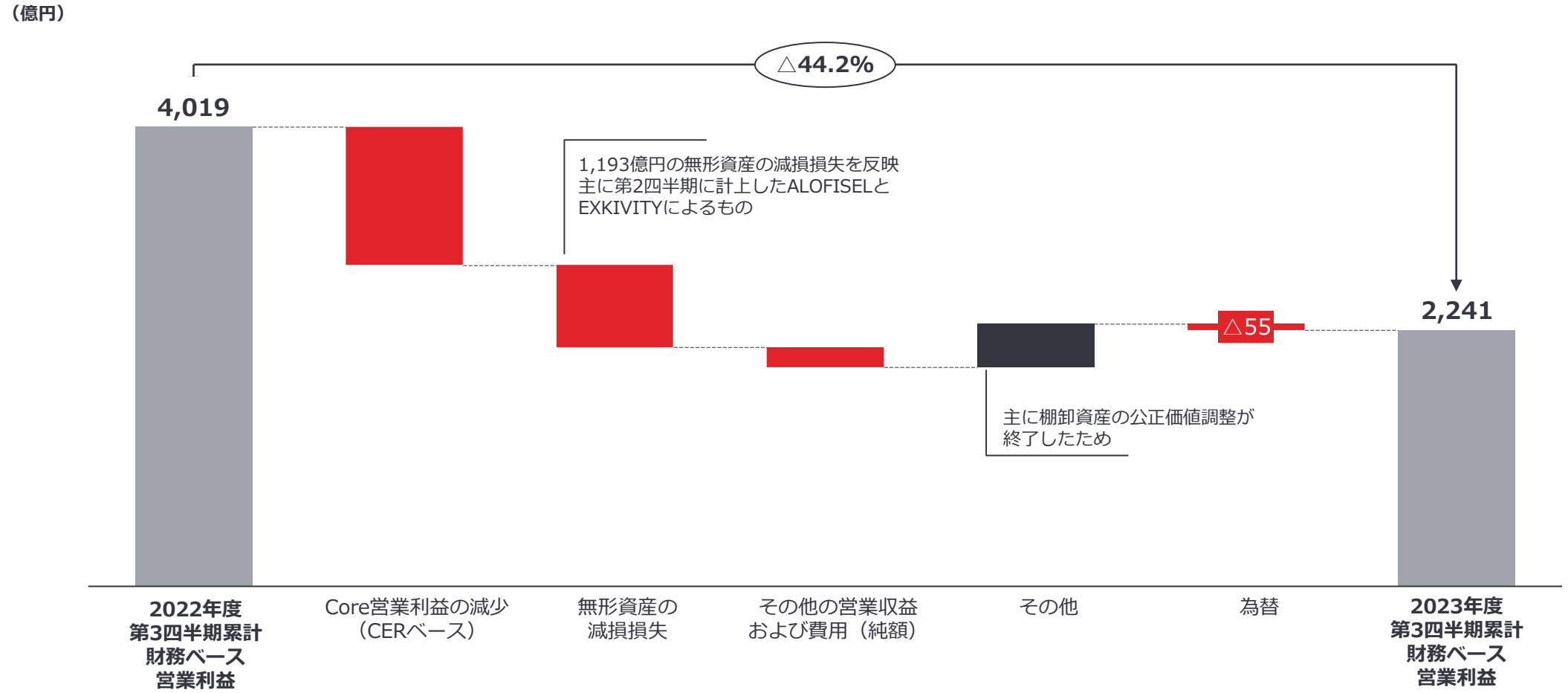
2023年度第3四半期累計 CORE営業利益（対前年度）



上記は参考図
Core営業利益は国際会計基準に準拠しない財務指標です。定義および調整表は参考資料をご参照下さい。

財務ベース営業利益は、第2四半期に大部分を計上した ノン・コアの項目に関する要因が影響

2023年度第3四半期累計 財務ベース営業利益（対前年度）



上記は参考図
Core営業利益は国際会計基準に準拠しない財務指標です。定義および調整表は参考資料をご参照下さい。

通期マネジメントガイダンスおよび業績予想に変更なし

- **マネジメントガイダンスには独占販売期間満了による大幅なマイナス影響、新型コロナウイルスワクチンの減収、長期的な競争力を確保するための研究開発およびデータ＆テクノロジーへの投資を反映**
- **Core営業利益は1兆円超えの見通し**
- **現在の為替水準が継続した場合は、売上収益およびCore営業利益が上振れる可能性**

（億円、1株当たりの数値を除く）	財務ベース		CORE		CORE増減率（CERベース）
	2023年度予想	対前年度	2023年度予想	対前年度	2023年度マネジメントガイダンス（2023年５月から変更なし）
売上収益	**39,800**	△1.2%	**39,800**	△1.2%	**一桁台前半%の減少**
営業利益	**2,250**	△54.1%	**10,150**	△14.6%	**10%台前半の減少**
EPS (円)	**59円**	△70.9%	**447円**	△19.9%	**20%台前半の減少**

フリー・キャッシュ・フロー	4,000 – 5,000
1株当たり年間配当金	188円

- フリー・キャッシュ・フローの予想には、Nimbus社からのTAK-279の取得およびHutchmed社からのFRUZAQLA（fruquintinib）の導入に関連する支出を反映

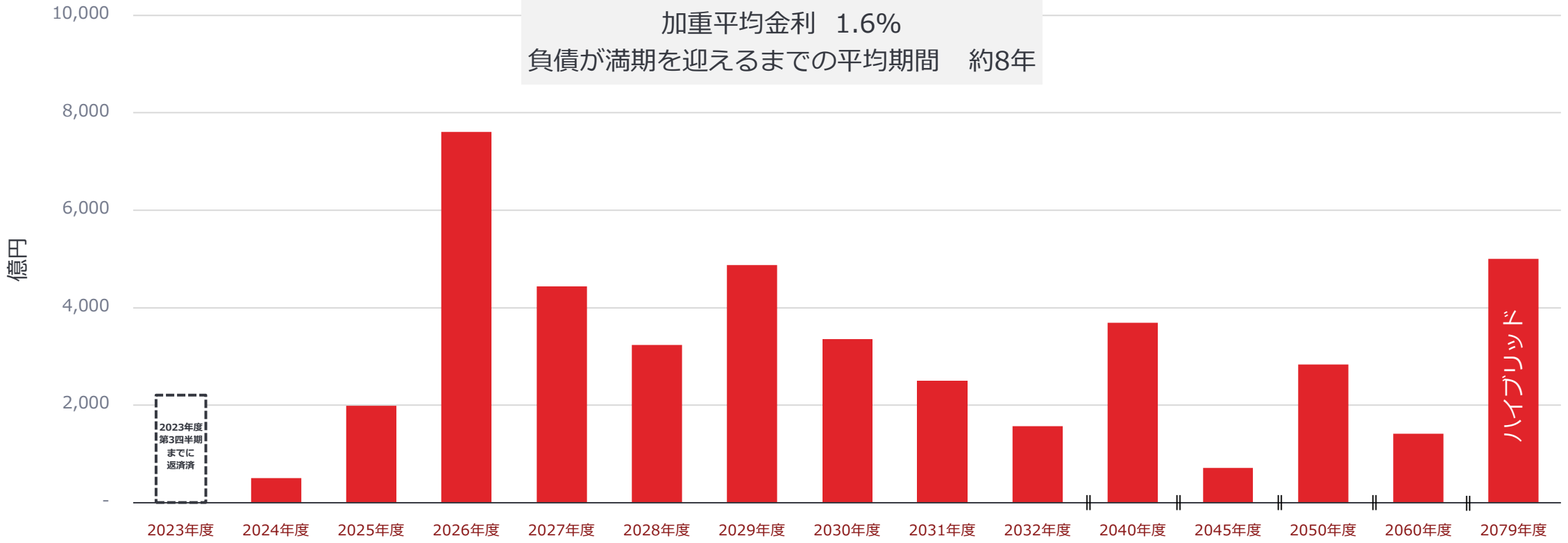
2023年度業績予想の主な前提：
- 為替の前提は、137円/米ドル、145円/ユーロを想定。為替感応度については、A-19ページをご参照下さい。

本スライドには国際会計基準に準拠しない財務指標が含まれます。定義および調整表は参考資料をご参照下さい。
2023年度の業績予想の詳細はA-17ページをご参照下さい。

負債返済により加重平均金利は約2%から1.6%に低下

2023年12月31日時点のマチュリティラダー

負債残高の100%が固定金利
加重平均金利　1.6%
負債が満期を迎えるまでの平均期間　約8年



外貨建て負債については、2023年12月末時点の為替レート （141.9円/米ドル、156.7円/ユーロ）で計算。この換算は、会計報告目的のために実際の変換レートを使用。

2023年度第3四半期：通期マネジメントガイダンスに向け想定通りに進捗

2023年度第3四半期累計（4-12 月）

トップライン

- **売上収益 32,129億円（228億米ドル）[1] 横ばいの+0.0%成長（CER[2]ベース）** 実勢レートベースで+4.6%成長
- **成長製品・新製品+12.7 %成長（CERベース）** 売上収益全体の43%を占める

利益率

- **Core営業利益 8,656億円（61億米ドル）[1、3]** Core営業利益率は26.9%
- **財務ベース営業利益 2,241億円（16億米ドル）[1]** 第2四半期に大部分を計上したノン・コアの項目に関する要因が影響
- **Core EPS 412円** 財務ベースEPS 94円

キャッシュ・フロー

- **営業活動によるキャッシュ・フロー 4,378億円（31億米ドル）[1]**
- **フリー・キャッシュ・フロー 363億円[4]** TAK-279の取得およびfruquintinibの導入を含む支出2,855億円を反映
- **加重平均金利は約2%から1.6%に低下** 2023年度第3四半期累計で15億ドルの負債返済による

2023年度通期見通し

- **通期マネジメントガイダンス（CERベースのCore増減率）は変更なし**
- **通期業績予想に変更はないものの、現在の為替水準が継続した場合は、売上収益およびCore営業利益が上振れる可能性[5]**

1. 為替レートに関する免責事項は2ページをご参照下さい。
2. Constant Exchange Rate：恒常為替レート。定義はA-1ページをご参照下さい。
3. Core財務指標の定義はA-1ページ、調整表はA-7、A-9ページをご参照下さい。
4. 定義はA-1ページ、調整表はA-11ページをご参照下さい。
5. 為替感応度はA-19ページをご参照ください。

チーフ フィナンシャル オフィサー（CFO）の移行期間中も戦略の実行に注力

- 当社チーフ フィナンシャル オフィサー（CFO）のコスタ・サルコウス氏が家族と過ごすために母国オーストラリアに戻ることを決断し、2024年4月1日付でCFOを退任するとともに、同年6月28日付で当社取締役を退任する予定
- 後任として、2024年4月1日付で当社ジャパン ファーマ ビジネス ユニット プレジデントである古田 未来乃氏が当社CFOに就任。古田氏はCFOとして、取締役会に対し新任取締役候補者として提案される予定
- 成長ドライバーへの投資および株主還元という資本配分に関する基本方針、Core営業利益率30%台前半から半ばへの回復という目標に対する当社のコミットメントに変更はなし

古田 未来乃

- 古田氏は2010年に当社へ入社する前、米国の投資管理会社で株式のリサーチアナリストとして勤務。同氏は、2000年に日本で銀行業務およびプライベートエクイティ投資業務でキャリアをスタートさせ、レバレッジド・バイアウトや負債の整理といった様々なタイプの金融取引に従事
- 現職のジャパン ファーマ ビジネス ユニット プレジデント就任前には、当社コーポレート ストラテジー オフィサー 兼 チーフ オブ スタッフを務め、その他にも当社内のさまざまな国において多様なリーダーとしての役割を経験
- 古田氏は、一橋大学法学部で国際関係論の学位、ペンシルバニア大学ウォートン校で経営学修士（MBA）を取得

質疑応答

クリストフ・ウェバー

代表取締役社長 CEO

アンディー・プランプ

リサーチ&デベロップメント
プレジデント

コスタ・サルウコス

チーフ フィナンシャル
オフィサー

ジュリー・キム

U.S. ビジネスユニット
プレジデント

古田未来乃

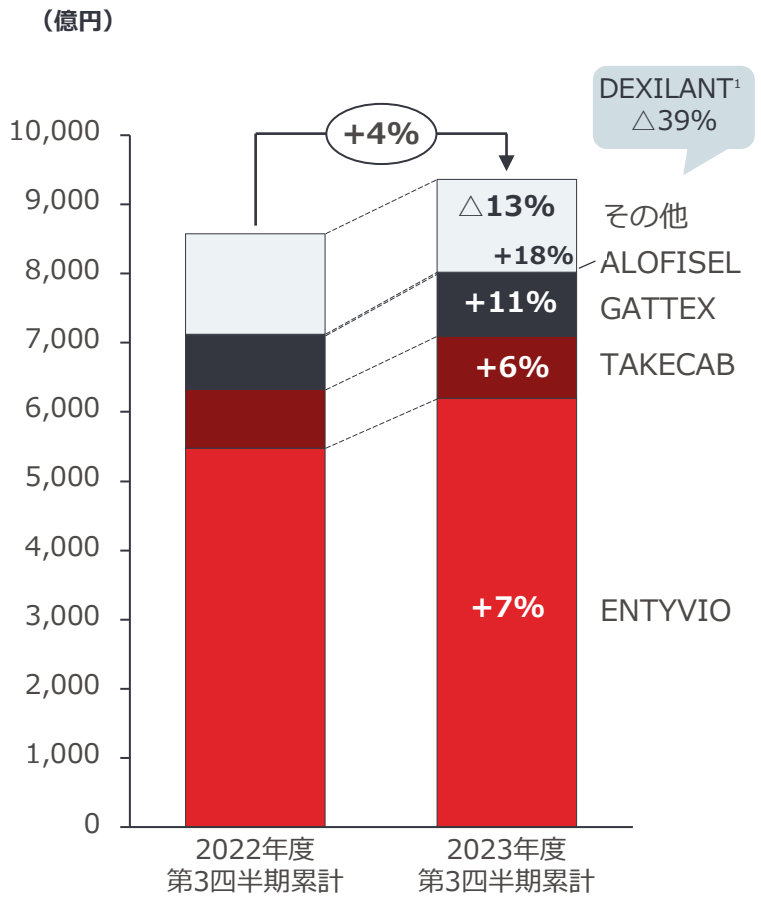
ジャパン ファーマ ビジネス
ユニット プレジデント

APPENDIX

DEXILANTの独占販売期間満了によるマイナス影響を受けたものの ENTYVIOの成長が引き続き消化器系疾患フランチャイズの拡大を牽引

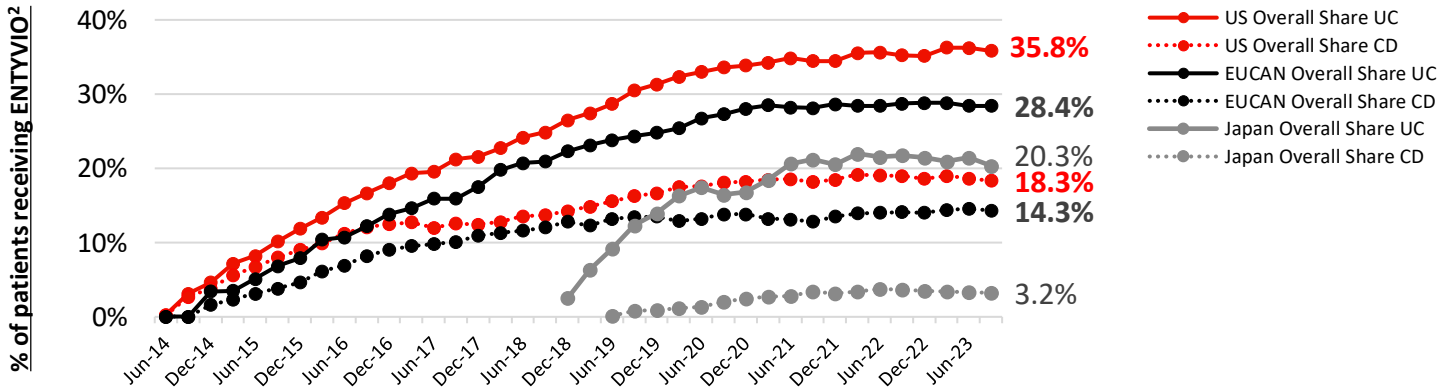
消化器系疾患 ポートフォリオ

2023年度第3四半期累計 売上収益



Entyvio vedolizumab 2023年度第3四半期累計 売上収益 6,193億円（+6.6%成長）

- 世界的に競争が激化しているものの、最近上市された治療薬は主に炎症性腸疾患（IBD）の後方ラインの治療に影響するものであり、ENTYVIOはIBDの市場全体の伸びを上回る成長を続けている
  - ENTYVIOの約10年、130万人以上の患者さんへの投与経験と、そのユニークな腸管選択性による優れた安全性と有効性のプロファイルは、IBD治療における持続的かつ深い寛解と高い治療継続率のベンチマークであり続けている
  - ENTYVIOは、米国における炎症性腸疾患の市場全体および生物学的製剤ナイーブの患者さんへ新規に処方された治療薬の両方で第1位を維持。潰瘍性大腸炎（UC）におけるENTYVIO Pen（皮下投与製剤）は2023年11月に上市し、高い関心を集めており、現在はフォーミュラリーへの組み入れも拡大している。ENTYVIO Penは、皮下投与を好む新たな医師・患者層に浸透しはじめ、維持療法において静脈注射と皮下投与の両方の選択肢を持つ唯一の先発品治療薬となった
    ENTYVIO Pen のクローン病（CD）に対する米国での承認は2024年度早期を想定
  - 欧州では、価格引き下げの影響は継続しているものの、皮下投与製剤のさらなる浸透に支えられ、投与患者数は10%台半ばの堅調な伸びを維持しており、IBDにおける先進的治療薬の市場全体の伸びを上回っている
  - UCとCDの臨床試験に大幅な投資を行い、症状寛解や内視鏡的治癒といった治療目標をサポートするとともに、Vedolizumabをバックボーン治療薬とし、有効性の限界を超える併用療法の潜在的な役割を評価するため、科学界を支援する新たな試験を開始



1. 2023年1月より米国市場において後発品の参入が開始。
2. 米国：SHA Medical and Pharmacy Claims data；EUCAN：社内推定；日本：JMDC
EUCANにおける市場シェアは前四半期までの算出値を更新し、より正確に潰瘍性大腸炎とクローン病の患者割合を反映。

EUCAN：欧州・カナダ

絶対値は国際会計基準（IFRS）財務ベース、
対前年比はCERベース（定義はA-1ページをご参照下さい）。

継続的なエビデンス構築および適応拡大

	臨床第3相試験	臨床第4相試験	論文掲載/学会発表	申請済	承認済
潰瘍性大腸炎	ENTYVIO® IV 小児適応（グローバル）	ENTYVIO® IV (VERDICT) （米国、カナダ）[3] NEW ENTYVIO® IV (EXIGEM) （米国）[3]	ENTYVIO® IV (VARSITY) adalimumabとの直接比較試験[1]		ENTYVIO® IV （グローバル） ENTYVIO® SC （米国、欧州、日本）
クローン病	ENTYVIO® IV 小児適応（グローバル）	NEW ENTYVIO® IV (EXPLORER 2) （グローバル）[3]		ENTYVIO® SC （米国）	ENTYVIO® IV （グローバル） ENTYVIO® SC （欧州、日本）
回腸嚢炎					ENTYVIO® IV （欧州）
移植片対宿主病			★ ENTYVIO® IV （グローバル）[2]		
重要なエビデンスを構築するための取り組み	追加の臨床試験を計画[3]				

1. Sands BE et al. N Engl J Med 2019;381:1215-26.
2. Chen YB et al., Transplantation & Cellular Therapy Meetings of ASTCT and CIBMTRにおいて発表（2023年2月18日）
3. 適応拡大などを目的としたデザインの臨床試験ではない

承認済　論文掲載/学会発表　継続中の試験または申請済

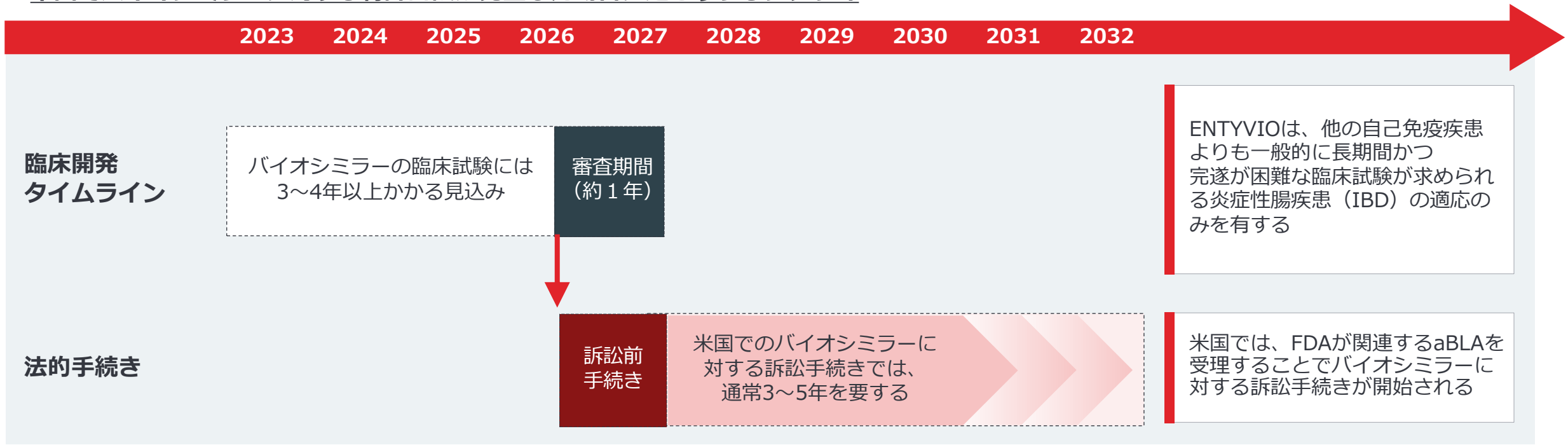
★ 希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）指定の可能性　NEW 前四半期以降に追加された臨床開発

全てのタイムラインは2024年2月1日時点におけるおおよその予測で、変更される場合があり、また臨床試験・承認申請の結果に左右されます。表中は包括的なものではありません。
疾患名等の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

2032年以前に上市を試みるバイオシミラーは、全ての関連特許の侵害の可能性、もしくはそれら特許の法的な有効性の確認が必要

- 当社は、製剤、用法用量、製造法など、ENTYVIOのさまざまな側面にかかる特許を取得している。
  それらの特許は米国において2032年に満了する予定

米国でバイオシミラーに対する特許訴訟が発生した場合に起こりうるシナリオ



- ベドリズマブのバイオシミラー候補による最初の臨床第3相試験は、2023年3月にclinicaltrials.govに掲載されて以来更新されていない（現在も“not yet recruiting“と表示）。
  この試験はPolpharma Biologics社が主導しており、約750人の患者さんを登録する54週間の試験であり、これまで当社が説明してきた上記の想定時間軸の範囲内と見込む。

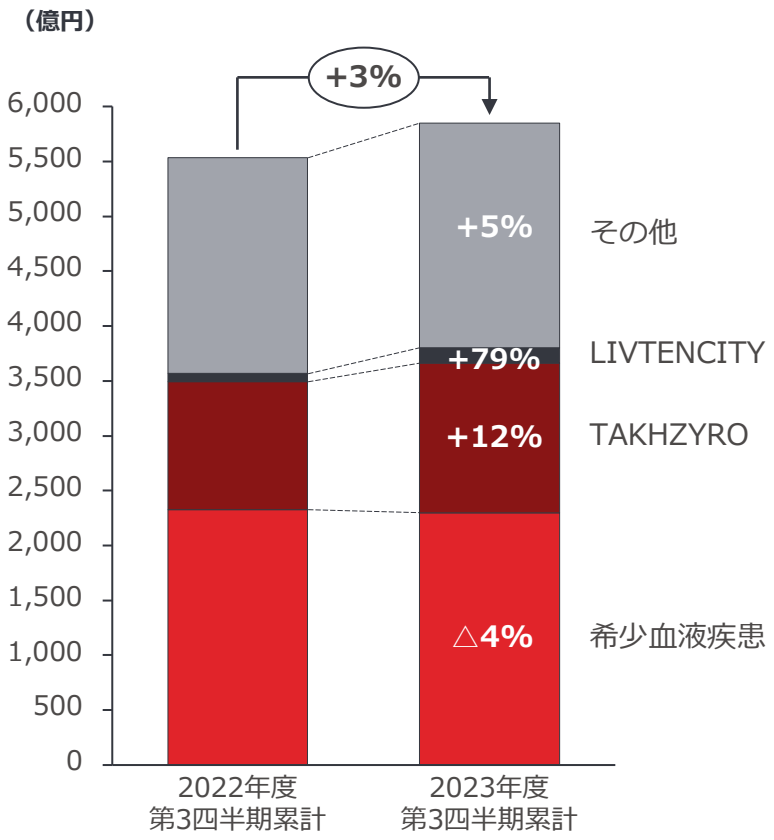
FDA：米国食品医薬品局
aBLA：簡易生物製剤承認申請（abbreviated Biologics License Application）

希少疾患

TAKHZYROは5,000人以上の治療に使用されており、力強い成長が継続
LIVTENCITYは米国での順調な市場浸透と急速な地理的拡大

希少疾患ポートフォリオ

2023年度第3四半期累計　売上収益



TAKHZYRO (lanadelumab-flyo) injection

2023年度第3四半期累計 売上収益 1,364億円（+11.5%成長）

- TAKHZYROは長期的な予防のために処方された現代の治療薬として第1位を継続。力強い勢いは以下の要因による
  - 上市の成功（50ヵ国以上で商業的なプレゼンス）、迅速な使用拡大および高い治療継続率
  - 2歳以上の小児患者さんにQOLの改善をもたらす確固たる実臨床エビデンス（遺伝性血管性浮腫の発作を完全に予防する可能性）、診断数の増加および予防市場の成長により、新規患者さんからの需要が継続
- TAKHZYROは、2歳以上の小児患者さんにおける遺伝性血管性浮腫（HAE）の再発性発作の予防として欧州委員会より承認取得。6歳未満の患者さんにおける長期的な予防を対象とした欧州で初めてかつ唯一のHAE治療薬
- 米国における小児を対象とした使用拡大は順調に進み、新規の治療開始数は想定を上回る

LIVTENCITY™ (maribavir) tablets 200mg

2023年度第3四半期累計 売上収益 139億円（+78.8%成長）

- LIVTENCITYは、力強い立ち上がりが継続。継続的な使用拡大、新規投与症例の増加や新規処方医と再処方医の増加に繋がる各移植センターにおける浸透（全診療科への処方の拡大）、および高いアンメットニーズを示す良好な市場アクセスの傾向が牽引
- 実臨床の医師の判断による使用期間は非常に個別化されていることが明らかになっており、SOLSTICE試験で評価された8週間よりも長く治療を受けている患者さんも確認されている。移植後難治性サイトメガロウイルス（CMV）感染症に対する使用パターンや難治性の定義が不均一であることからも対象患者さんがより幅広くなる可能性
- 米国と欧州以外での急速な地理的拡大
  - 2023年12月に中国国家食品薬品監督管理局（NMPA）は、既存療法に対して難治性のサイトメガロウイルス（CMV）感染症の成人患者さんの治療薬としてLIVTENCITYを承認
  - オーストラリア、韓国、台湾、ブラジルで承認を取得済み。欧州20ヵ国において上市済みであり、国家保険償還あるいはIndividual Funding Request制度を含む部分償還の対象

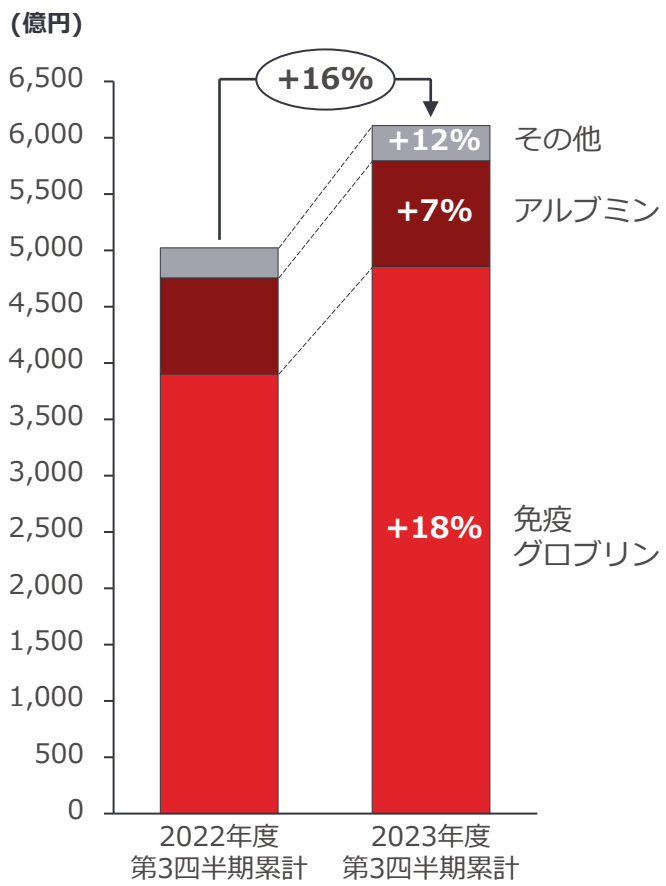
絶対値は国際会計基準（IFRS）財務ベース、
対前年比はCERベース（定義はA-1ページをご参照下さい）。

QOL：生活の質（Quality of Life）

血漿分画製剤ポートフォリオは引き続き卓越した成長を実現

血漿分画製剤（免疫疾患）ポートフォリオ

2023年度第3四半期累計　売上収益



免疫グロブリン製剤

2023年度第3四半期累計 売上収益 4,857億円（+18.4%成長）

- 米国を筆頭に世界的に強い需要が継続し、供給も安定的に増加
- 皮下投与製剤のポートフォリオは継続的に拡大し、二桁台の成長率
  - HYQVIAは米国および欧州において2024年1月にCIDPを対象とした維持療法として承認取得
  - CUVITRUは日本においてPIDとSIDを対象に承認取得
    欧州では2024年1月にSIDを対象に承認取得

GAMMAGARD LIQUID [Immune Globulin Intravenous (Human)] 10%　Kiovig Human Normal Immunoglobulin (IVIg)　HyQvia Human Normal Immunoglobulin (10%) Recombinant Human Hyaluronidase　Cuvitru [Immune Globulin Subcutaneous (Human)] 20%

アルブミン製剤

2023年度第3四半期累計 売上収益 943億円（+6.9%成長）

- 中国における高い需要がアルブミン製品の成長を牽引
- 製造設備のアップグレードに対応した生産スケジュールの影響により、2023年度のグローバルの成長率は通期見込みの下限で推移すると想定

Flexbumin (Human Albumin)　HUMANALBUMIN SOLUTION FOR INFUSION

血漿収集とセンターへの投資を継続

- 2023年度の血漿収集量+10-20%増加目標に向けて想定通りに進捗
- 当社の血漿収集拠点は、現在グローバルで250センター以上
  2023年度末までに20センター以上を新規開設する計画に対して想定通りに進捗
- データとデジタルへの大幅な投資を行い、個別化および差別化による卓越した採漿体験を提供することで、血漿成分献血者を引きつけ、再訪を促す
- データ、デジタル、テクノロジーを駆使し、製造ネットワーク全体でターゲットを絞った投資を行い、血漿成分の収率改善や製造能力の拡大および効率化を図る

絶対値は国際会計基準（IFRS）財務ベース、
対前年比はCERベース（定義はA-1ページをご参照下さい）。

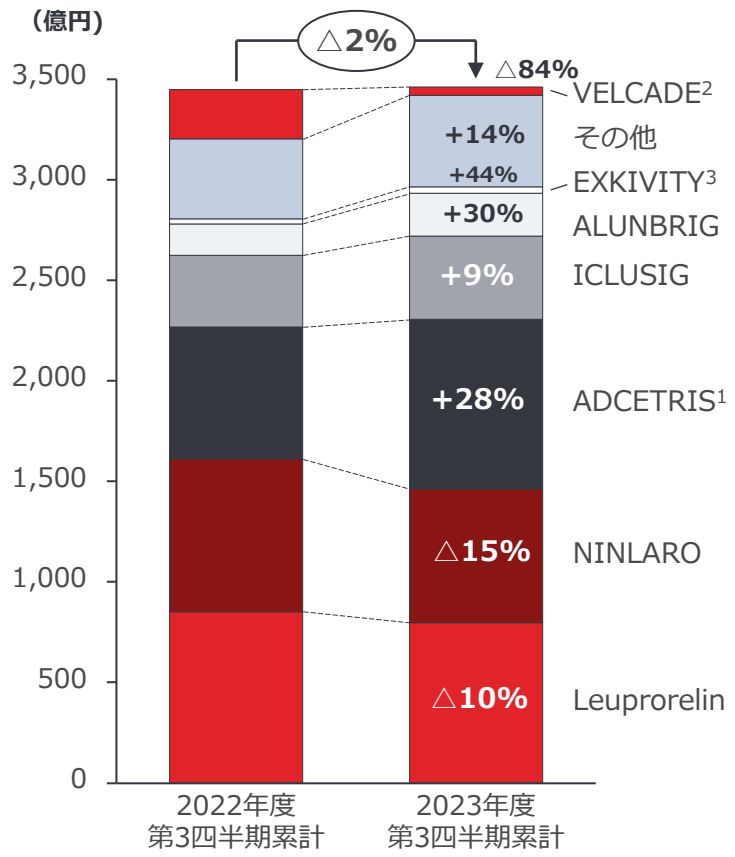
CIDP：慢性炎症性脱髄性多発根神経炎
PID：原発性免疫不全症候群、SID：続発性免疫不全症候群

オンコロジー

米国における新薬上市は有望な立ち上がり
主要製品の成長がVELCADEの後発品参入による影響を大幅に軽減

オンコロジーポートフォリオ

2023年度第3四半期累計　売上収益



Fruzaqla™ (fruquintinib) capsules

- 特定の抗がん剤による治療歴がある転移性大腸がん（mCRC）患者さんを対象とした2023年11月の米国食品医薬品局（FDA）による承認以降、新規患者さんへの投与数が予想を上回る好調な立ち上がり
- 各規制当局への申請は想定通りに進捗し、欧州と日本ではそれぞれ2023年度第1四半期および第2四半期に申請済み

ADCETRIS® brentuximab vedotin

- 欧州・カナダ、日本および成長新興国市場において、ホジキンリンパ腫の一次治療で力強い成長率（対前年）を継続
- ホジキンリンパ腫の一次治療における使用拡大は、ECHELON-1試験の6年間の全生存期間（OS）データと、欧州でのホジキンリンパ腫の一次治療におけるステージⅢへの適応拡大が牽引

ALUNBRIG® BRIGATINIB

- 2023年度第3四半期累計で2桁成長を達成

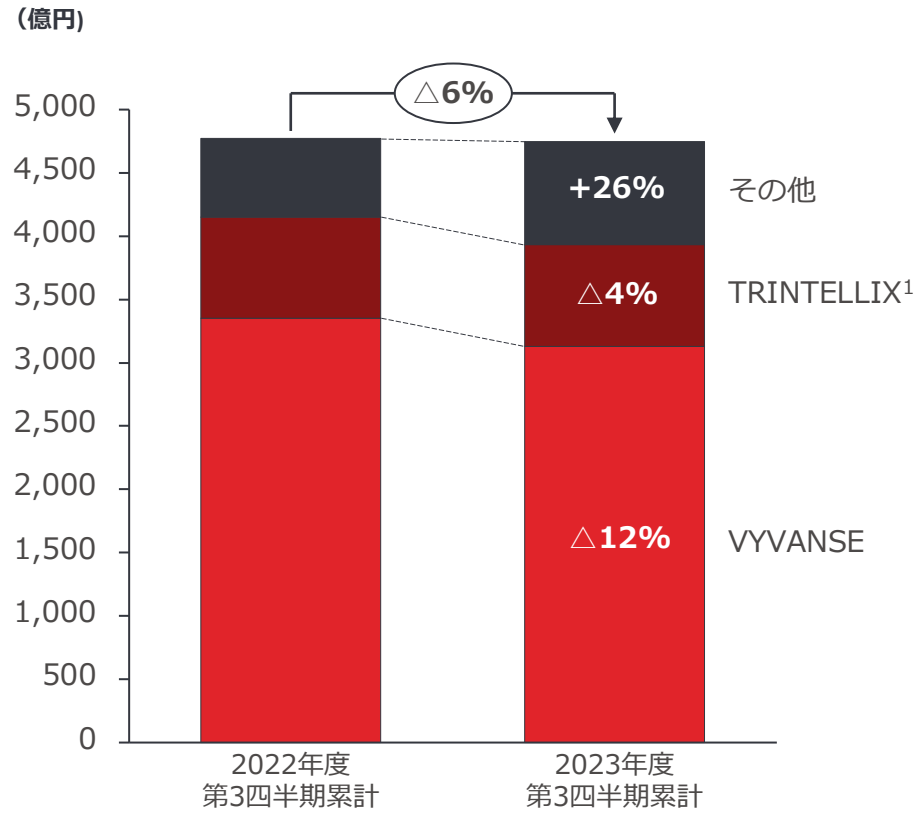
絶対値は国際会計基準（IFRS）財務ベース、
対前年比はCERベース（定義はA-1ページをご参照下さい）。
疾患名等の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

1. ADCETRISはPfizer社より導入（2023年12月、Seagen社はPfizer社により買収）；北米外でのグローバル共同開発・販売権を保有。
2. 2022年5月より米国市場において後発品の参入開始。
3. 2023年10月、当社は非小細胞肺がん治療薬EXKIVITYのグローバルでの自主的な取り下げを開始予定であることを公表しました。

VYVANSEの米国における独占販売期間満了による影響は、想定通り8月から始まる

ニューロサイエンスポートフォリオ

2023年度第3四半期累計　売上収益



1. TRINTELLIXはLundbeck社より導入；米国と日本で共同販売権を保有。

Vyvanse® (lisdexamfetamine dimesylate)

2023年度第3四半期累計 売上収益 3,129億円（△12.1%減少）

- 成人の注意欠陥／多動性障害（ADHD）人口の拡大および他のADHD治療薬の後発品の供給不足により、独占販売期間満了前の4月～8月は力強い業績
- 最新の市場情報では、8月24日の独占販売期間満了以降、9つの後発品が上市済み
- 米国におけるVYVANSEのシェアの低下は、後発品の供給不足により当初の予想よりわずかに緩やか
  供給不足は年度末に向けて徐々に緩和されると想定
- 2023年4月の日本における販売権の買い戻しを含め、米国以外で力強い成長が継続

Trintellix® vortioxetine

2023年度第3四半期累計 売上収益 802億円（△4.1%減少）

- 対前年の減収は、主に公的医療保険を介した処方の増加によるもの
  また、新規患者さんは複合的な要因で減少し、全体的な需要が低下している
- 米国において、処理速度（大うつ病で障害される可能性がある認知機能）を含むTRINTELLIXの有効性に焦点をあてた戦略とともに、販売部門の活動とオムニチャネル型の情報活動が新規患者さんに対する処方増加を牽引すると想定
- 日本では、2023年度第3四半期累計で+33.3%の成長となり、力強い勢いが継続
  精神科医の間で初回治療に選択される治療薬として確かなポジショニングが確立されつつあり、薬効市場内のTRINTELLIXのシェアは引き続き上昇

絶対値は国際会計基準（IFRS）財務ベース、
対前年比はCERベース（定義はA-1ページをご参照下さい）。

短期間で展開される重要なライフ・サイクル・マネジメントの推進が大きな成長機会をもたらす

	2023年度	2024年度
消化器系・炎症性疾患	**ENTYVIO** ✓ 申請済 皮下投与製剤 CD（米国） **ALOFISEL** ✗ 申請目標 複雑痔瘻（米国）	**maralixibat** 申請目標 ALGS、PFIC（日本）
オンコロジー	**ICLUSIG** ✓ 申請済 1L Ph+ ALL（米国） **CABOMETYX** 申請目標 CRPC（日本）	
希少遺伝子疾患および希少血液疾患	**LIVTENCITY** ✓ 申請済 移植後CMV感染（日本）[1]	
血漿分画製剤	**HYQVIA** 申請目標 PID（日本） **TAK-880** 申請目標 RTU IgG低IgA（欧州） **GAMMAGARD LIQUID** ✓ 承認済 CIDP（米国）	**HYQVIA** 申請目標 CIDP、MMN（日本） **TAK-880** 申請目標 RTU IgG低IgA（米国）

1. 移植後サイトメガロウイルス（CMV）感染/感染症

申請目標　✓ マイルストン達成
承認済　✗ マイルストン未達成

全てのタイムラインは2024年2月1日時点におけるおおよその予測で、変更される場合があり、また臨床試験・承認申請の結果に左右されます。
表中の研究開発マイルストンは包括的なものではありません。疾患名等の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

TAK-279は複数の適応症を対象に並行して開発を推進

Latitude

	臨床第2相試験 開始	臨床第2b相試験 データ読み出し	臨床第3相試験	申請目標
乾癬		臨床第2b相試験 2023年3月 ✓	臨床第3相試験 開始 2023年度 ✓ 直接比較試験 開始 2024年度	2025-27年度
乾癬性関節炎		臨床第2b相試験 2023年9月 ✓	臨床第3相試験 開始 2024年度	
クローン病	臨床第2b相試験 開始 2023/24年度			
潰瘍性大腸炎	臨床第2b相試験 開始 2023/24年度			
その他	計画中			

TAK-279は高い選択性（JAKキナーゼよりもTYK2に対して約150万倍）を有する1日1回の経口投与製剤

- TYK2、IL-23、IL-12を標的とした治療法は多くの自己免疫疾患に有効
- 遺伝的データ：TYK2の機能を喪失させることにより、乾癬、乾癬性関節炎、クローン病、潰瘍性大腸炎などのリスクが低下
- 前臨床モデルによる有用性の裏付け

- **複数の自己免疫疾患に対する臨床作用が認められている有力なメカニズム：炎症性腸疾患を含む免疫関連疾患に対しても有望**
- **高い選択性によりベストインクラスの可能性を有する1日1回の経口投与製剤**

継続的なポートフォリオの優先順位付けとデータに基づく意思決定による2023年度の臨床開発パイプラインの変更点

臨床第1相試験（追加品目）

- **TAK-647** NASH
- **TAK-012** Acute myeloid leukemia

臨床第2相試験（追加品目）

- **danavorexton** Postanesthesia recovery
- **dazostinag** Solid tumors[1]

臨床第3相試験（追加品目）

- **TAK-279** Psoriasis
- **ADYNOVATE®** recombinant Factor VIII HemA (CN)
- **LIVTENCITY®** ★ Pediatric Post-transplant CMV infection
- **TAK-881** Immunodeficiencies

新規申請

- **ADZYNMA®** ★ cTTP (EU, JP)
- **FRUZAQLA™** mCRC (EU, JP)
- **TAK-721** ★ Eosinophilic esophagitis (US)
- **ENTYVIO®** SC CD (US)
- **ADCETRIS®** ★ FL PTCL-NOS (EU)
- **ICLUSIG®** 1L Ph+ ALL (US)
- **LIVTENCITY®** ★ Post-transplant CMV infection (JP)
- **OBIZUR®** ★ Recomb antihemophilic factor porcine (JP)
- **CEPROTIN®** SCPCD (JP)

臨床第1相試験（中止品目）

- **TAK-105** Nausea & vomiting
- **TAK-920** Alzheimer's Disease
- **modakafusp alfa** Solid tumors
- **TAK-102** Solid tumors
- **TAK-103** Solid tumors
- **TAK-940** CD19+ hematologic malignancies
- **TAK-426** Zika Vaccine

臨床第2相試験（中止品目）

- **TAK-041** Anhedonia in MDD
- **TAK-071** Parkinson's Disease
- **TAK-611** MLD (intrathecal)
- **modakafusp alfa** R/R MM

臨床第3相試験（中止品目）

- **EXKIVITY®** 1L NSCLC EGFR exon 20
- **ALOFISEL®** Perianal Fistulas in CD (US)
- **ZEJULA®** Breast cancer (JP)
- **VONVENDI®** vWD Adult Prophylaxis (CN)
- **Nuvaxovid®** COVID-19 Vaccine Booster (JP)[2]

新規承認

- **ADZYNMA®** ★ cTTP (US)
- **FRUZAQLA™** mCRC (US)
- **ENTYVIO®** SC CD (JP)
- **ENTYVIO®** SC UC (US)
- **VOCINTI®** *H. Pylori* (CN)
- **ADCETRIS®** FL HL Stage III (EU)
- **ADCETRIS®** ★ R/R CTCL (JP)
- **LIVTENCITY®** ★ R/R Post-transplant CMV infection (CN)
- **TAKHZYRO®** ★ Pediatric HAE (EU)
- **VEYVONDI®** ★ vWD Adult Prophylaxis (EU)
- **CUVITRU®** PID, SID (JP), SID (EU)
- **FEIBA®** STAR Extension (US, EU)
- **GAMMAGARD LIQUID®** CIDP (US)
- **HYQVIA®** ★ CIDP (US, EU)
- **HYQVIA®** ★ Pediatric PID (US)

1. 現在、臨床第1/2相試験の第2相パート
2. Nuvaxovid の追加接種を評価する臨床第3相試験は完了

★ 希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）指定の可能性（いずれかの地域/ 適応症）

承認済 | 新規候補物質 | LCM

全てのタイムラインは2024年2月1日時点におけるおおよその予測で、変更される場合があり、また臨床試験・承認申請の結果に左右されます。
表中の研究開発マイルストンは包括的なものではなく、主要な市場（米国、欧州、日本、中国）の情報を掲載しています。 疾患名等の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

臨床開発パイプライン一覧表（フェーズ別）

	臨床第3相試験（新規候補物質6品目 + LCM19件）	申請（新規候補物質3品目 + LCM22件）
消化器系・炎症性疾患	TAK-279 Psoriasis fazirsiran AATD Liver Disease ★ ENTYVIO® Pediatric UC maralixibat ALGS (JP) ★ ALOFISEL® Pediatric perianal Fistulas in CD ★ ADZYNMA® cTTP (CN) ★ ENTYVIO® GvHD Prophylaxis ★ ENTYVIO® Pediatric CD maralixibat PFIC (JP) ★	ADZYNMA® cTTP (US) ★ ADZYNMA® cTTP (EU) ★ ENTYVIO® SC UC (US) VOCINTI® *H. Pylori* (CN) TAK-721 Eosinophilic esophagitis (US) ★ ADZYNMA® cTTP (JP) ★ ENTYVIO® SC CD (JP) ENTYVIO® SC CD (US)
ニューロサイエンス（神経精神疾患）	soticlestat DS ★ soticlestat LGS ★ pabinafusp alfa Hunter Syndrome ★	
オンコロジー + 細胞療法	CABOMETYX® mCRPC combo w/atezolizumab (JP) NINLARO® Maint. ND MM post-SCT (US, EU) ★ relugolix Prostate cancer (JP, CN)	FRUZAQLA™ mCRC (US) FRUZAQLA™ mCRC (JP) ADCETRIS® FL HL Stage III (EU) ICLUSIG® 1L Ph+ ALL (US) FRUZAQLA™ mCRC (EU) ADCETRIS® FL PTCL-NOS (EU) ★ ADCETRIS® R/R CTCL (JP) ★
希少遺伝子疾患および希少血液疾患	LIVTENCITY® Pediatric Post-transplant CMV infection ★ VONVENDI® vWD Pediatric On-demand & Surgery ★ ADYNOVATE® recombinant Factor VIII Pediatric HemA (EU) ADYNOVATE® recombinant Factor VIII HemA (CN)	LIVTENCITY® Post-transplant CMV infection (JP) ★ LIVTENCITY® R/R Post-transplant CMV infection (CN) ★ TAKHZYRO® Pediatric HAE (EU) ★ OBIZUR® Recomb antihemophilic factor porcine (JP) ★ OBIZUR® Recomb antihemophilic factor porcine (CN) ★ VEYVONDI® vWD Adult Prophylaxis (EU) ★ VONVENDI® vWD On-demand & Surgery (CN) ★
血漿分画製剤	HYQVIA® CIDP, MMN (JP) ★ HYQVIA® PID, SID (JP) TAK-880 IgG – Low IgA (US, EU) TAK-881 Immunodeficiencies Prothromplex DOAC Reversal (US) Glovenin-I Autoimmune Encephalitis (JP) ★	HYQVIA® CIDP (US) ★ HYQVIA® Pediatric PID (US) ★ CUVITRU® PID, SID (JP), SID (EU) CEPROTIN® SCPCD (JP) HYQVIA® CIDP (EU) ★ GAMMAGARD LIQUID® CIDP (US) FEIBA® STAR Extension (US, EU)
ワクチン	QDENGA® Dengue Vaccine Booster	

★ 希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）指定 の可能性（いずれかの地域/ 適応症）

承認済　新規候補物質　LCM

全てのタイムラインは2024年2月1日時点におけるおおよその予測で、変更される場合があり、また臨床試験・承認申請の結果に左右されます。
表中の研究開発マイルストンは包括的なものではありません。疾患名等の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

臨床開発パイプライン一覧表（フェーズ別）

	臨床第1相試験（新規候補物質7品目 + LCM1件）	臨床第2相試験（新規候補物質15品目）
消化器系・炎症性疾患	**TAK-647** NASH **ADZYNMA®** SCD **mezagitamab** ★ IgAN	**TAK-279** Psoriatic Arthritis **TAK-101** Celiac Disease **mezagitamab** ★ MG **ADZYNMA®** ★ iTTP **TAK-227** Celiac Disease **zamaglutenase** Celiac Disease **mezagitamab** ★ ITP **TAK-951** Nausea & vomiting
ニューロサイエンス（神経精神疾患）		**TAK-861** ★ NT1 **danavorexton** ★ Postanesthesia recovery **TAK-653** Inadequate resp. in MDD **TAK-594** ★ Frontotemporal dementia **TAK-861** ★ NT2 **TAK-341** ★ MSA
オンコロジー + 細胞療法	**TAK-012** Acute myeloid leukemia **TAK-186** EGFR Solid Tumor[1] **TAK-280** B7-H3 Solid Tumor[1] **ICLUSIG®** Pediatric Ph+ ALL **TAK-500** Solid tumors	**subasumstat** Multiple cancers **TAK-007** ★ CD19+ hematologic malignancies **dazostinag TAK-676** Solid tumors[2]

1. 現在、臨床第1/2相試験の第1相パート
2. 現在、臨床第1/2相試験の第2相パート

★ 希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）指定 の可能性（いずれかの地域/ 適応症）

新規候補物質　LCM

全てのタイムラインは2024年2月1日時点におけるおおよその予測で、変更される場合があり、また臨床試験・承認申請の結果に左右されます。
表中の研究開発マイルストンは包括的なものではありません。疾患名等の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

略語の用語集

地域に関する略語:
CN: 中国; EU: 欧州; JP: 日本; UK: 英国; US: 米国

AAD	American Academy of Dermatology（米国皮膚科学会）
AATD	α1-antitrypsin deficiency（α1アンチトリプシン欠乏症）
AATD LD	α1-antitrypsin deficiency associated liver disease（α-1アンチトリプシン欠乏症による肝疾患）
ACR	American College of Rheumatology（米国リウマチ学会）
ADAMTS13	a disintegrin-like and metalloproteinase with a thrombospondin type 1 motifs 13（トロンボスポンジン1型モチーフ13を有するディスインテグリンおよびメタロプロテイナーゼ）
ADHD	attention deficit hyperactivity disorder（注意欠陥多動性障害）
ALGS	Alagille syndrome（アラジール症候群）
ALK	anaplastic lymphoma kinase（未分化リンパ腫キナーゼ）
ALL	acute lymphocytic leukemia（急性リンパ性白血病）
AVA	advanced vial access（改良型バイアルアクセス）
BID	bis in die（1日2回投与）
BLA	biologics license application（生物製剤承認申請）
BTD	breakthrough therapy designation（画期的新薬指定）
CAR NK	chimeric antigen receptor natural killer cell（キメラ抗原受容体-ナチュラルキラー細胞）
CD	Crohn's disease（クローン病）
CHMP	Committee for Medicinal Products for Human Use（欧州医薬品委員会）
CIDP	chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy（慢性炎症性脱髄性多発根神経炎）
CML	chronic myeloid leukemia（慢性骨髄性白血病）
CMV	cytomegalovirus (サイトメガロウイルス)
CPF	complex perianal fistulas（複雑痔瘻）
CRC	colorectal cancer（大腸がん）
CRL	complete response letter（審査完了報告通知）
CRPC	castrate-resistant prostate cancer（去勢抵抗性前立腺がん）
CTCL	cutaneous T Cell Lymphoma（皮膚T細胞性リンパ腫）
cTTP	congenital thrombotic thrombocytopenic purpura（先天性血栓性血小板減少性紫斑病）
DOAC	direct oral anti-coagulation（直接作用型経口抗凝固薬）
DS	Dravet syndrome（ドラベ症候群）
DSQ	Dysphagia Symptom Questionnaire（嚥下障害症状質問票）
EGFR	epidermal growth factor receptor（上皮増殖因子受容体）
EMA	European Medicines Agency（欧州医薬品庁）
EoE	eosinophilic esophagitis（好酸球性食道炎）
ESS	Epworth Sleepiness Scale（エプワース眠気尺度）
FDA	the U.S. Food & Drug Administration（米国食品医薬品局）
FL	front line（フロントライン適応）
FSI	first subject in（最初の患者登録）
FY	fiscal year（年度）
GI	gastrointestinal（胃腸）
GvHD	graft versus host disease（移植片対宿主病）
H2H	head to head（直接比較）
HAE	hereditary angioedema（遺伝性血管浮腫）
HemA	hemophilia A（血友病A）
HL	Hodgkin lymphoma（ホジキンリンパ腫）
IARS	International Anesthesia Research Society（国際麻酔学研究学会）
IBD	inflammatory bowel disease（炎症性腸疾患）
IgA	immunoglobulin A（免疫グロブリンA）
IgAN	immunoglobulin A nephropathy（IgA腎症）
IgG	immunoglobulin G（免疫グロブリンG）
IND	investigational new drug（治験薬）
INN	international non-proprietary name（国際一般名称）
IRR	incidence rate ratio（発生率比）
IT	Intrathecal（髄腔内）
ITP	immune thrombocytopenic purpura（免疫性血小板減少性紫斑病）
iTTP	immune thrombotic thrombocytopenic purpura（免疫性血栓性血小板減少性紫斑病）
IV	intravenous（静脈投与）
JAK	Janus kinase（ヤヌスキナーゼ）
LCM	lifecycle management（ライフ・サイクル・マネジメント）
LGS	Lennox-Gastaut Syndrome（レノックス・ガストー症候群）
mCRC	metastatic colorectal cancer（転移性大腸がん）
mCRPC	metastatic castrate-resistant prostate cancer（転移性去勢抵抗性前立腺がん）
MDD	major depressive disorder（大うつ病）
MG	myasthenia gravis（重症筋無力症）
MLD	metachromatic leukodystrophy（異染性白質ジストロフィー）
MM	multiple myeloma（多発性骨髄腫）
MMN	multifocal motor neuropathy（多巣性運動ニューロパチー）
MSA	multiple system atrophy（多系統萎縮症）
MWT	maintenance of wakefulness test（覚醒維持検査）
NASH	non-alcoholic steatohepatitis（非アルコール性脂肪肝炎）
ND	newly diagnosed（新たに診断された）
NDA	new drug application（新薬承認申請）
NEJM	New England Journal of Medicine
NK	natural killer（ナチュラルキラー）
NME	new molecular entity（新規候補物質）
NMPA	(China's) National Medical Products Administration（中国国家薬品監督管理局）
NSCLC	non-small cell lung cancer（非小細胞肺がん）
NT1 or 2	narcolepsy Type 1（ナルコレプシータイプ1） or narcolepsy Type 2（ナルコレプシータイプ2）
PASI	psoriasis area and severity index（乾癬の重症度を表す指標）
PFIC	progressive familial intrahepatic cholestasis（進行性家族性肝内胆汁うっ滞症）
Ph+ ALL	Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia（フィラデルフィア染色体陽性ヒト急性リンパ性白血病）
PID	primary immunodeficiency（原発性免疫不全）
PK	pharmacokinetics（薬物動態）
PMDA	Japan's Pharmaceuticals and Medical Devices Agency（医薬品医療機器総合機構）
POC	proof of concept（概念実証）
PRIME	Priority medicines scheme by EMA（EMAによる優先審査制度）
PTCL-NOS	peripheral T-cell lymphoma not otherwise specified（末梢性T細胞リンパ腫 非特定型）
QD	quaque die, every day（１日１回投与）
R/R	relapsed/refractory（再発/難治性）
RTU	ready to use（調製済み）
SC	subcutaneous formulation（皮下投与製剤）
SCD	sickle cell disease（鎌状赤血球症）
SCPCD	severe congenital protein C deficiency（重症先天性プロテインC欠乏症）
SCT	stem cell transplant（幹細胞移植）
SID	secondary immunodeficiency（続発性免疫不全）
SLE	systemic lupus erythematosus（全身性エリテマトーデス）
SOC	standard of care（標準治療）
TEAE	treatment emergent adverse event（試験治療下での有害事象）
TKI	tyrosine kinase inhibitor（チロシンキナーゼ阻害剤）
TTP	thrombotic thrombocytopenic purpura（血栓性血小板減少性紫斑病）
TYK2	tyrosine kinase 2（チロシンキナーゼ2）
UC	ulcerative colitis（潰瘍性大腸炎）
VEGFR	vascular endothelial growth factor receptors（血管内皮増殖因子受容体）
vWD	von Willebrand disease（フォン・ヴィレブランド病）
WCR	weekly cataplexy rate（１週間あたりのカタプレキシー（情動脱力発作）発現率）
WW	Worldwide（全世界）

財務補足資料

国際会計基準（IFRS）に準拠しない財務指標の定義

Core財務指標、CERベースの増減、フリー・キャッシュ・フロー、便宜的な米ドル換算の定義 A-1
EBITDA、調整後EBITDA、純有利子負債の定義 A-2

調整表およびその他の財務情報

2023年度第3四半期累計 財務ベース業績　（CERベース増減率を含む） A-3
2023年度第3四半期（10-12月） 財務ベース業績　（CERベース増減率を含む） A-4
2023年度第3四半期累計 Core業績　（CERベース増減率を含む） A-5
2023年度第3四半期（10-12月） Core業績　（CERベース増減率を含む） A-6
2023年度第3四半期累計 財務ベースからCoreへの調整表 A-7
2023年度第3四半期（10-12月） 財務ベースからCoreへの調整表 A-8
2022年度第3四半期累計 財務ベースからCoreへの調整表 A-9
2022年度第3四半期（10-12月） 財務ベースからCoreへの調整表 A-10
2023年度第3四半期累計 フリー・キャッシュ・フロー A-11
2023年度第3四半期累計 純有利子負債/調整後EBITDA A-12
2022年度 純有利子負債/調整後EBITDA A-13
2023年度第3四半期累計 当期利益からEBITDA/調整後EBITDAへの調整 A-14
2023年度第3四半期累計 当期利益からEBITDA/調整後EBITDA（LTM）への調整 A-15
2023年度第3四半期累計 資本的支出、減価償却費及び償却費、減損損失 A-16
2023年度業績予想（詳細） A-17
2023年度業績予想 財務ベース営業利益からCore営業利益への調整表 A-18
2023年度前提為替レートおよび通期予想に対する為替感応度 A-19

Core財務指標、CERベースの増減、フリー・キャッシュ・フロー、便宜的な米ドル換算の定義

Core売上収益は、売上収益から、重要性のある本業に起因しない（非中核）事象による影響を控除して算出します。

Core営業利益は、当期利益から、法人所得税費用、持分法による投資損益、金融損益、その他の営業収益及びその他の営業費用、製品に係る無形資産償却費及び減損損失を控除して算出します。その他、非定常的な事象に基づく影響、企業買収に係る会計処理の影響や買収関連費用など、本業に起因しない（非中核）事象による影響を調整します。

Core EPSは、当期利益から、Core営業利益の算出において控除された項目と営業利益以下の各科目のうち、非定常的もしくは特別な事象に基づく影響、本業に起因しない（非中核）事象による影響を調整します。これらには、条件付対価に係る公正価値変動（時間的価値の変動を含む）影響などが含まれます。さらに、これらの調整項目に係る税金影響を控除した後、報告期間の自己株式控除後の平均発行済株式総数で除して算出します。

CER (Constant Exchange Rate : 恒常為替レート)ベースの増減は、当年度の財務ベースの業績もしくはCore業績について、前年度に適用した為替レートを用いて換算することにより、前年度との比較において為替影響を控除するものです。

当社が、**フリー・キャッシュ・フロー**をお示しする理由は、証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行うに際して頻繁に用いられる流動性についての同様の指標として、本指標が投資家の皆様にとって有用であると考えているためです。本指標は、当社の経営陣が特に流動性要件を満たす能力及び資本配分方針をサポートする能力に関連している、当社の流動性及びキャッシュ・フローを評価する際にも使用しています。また、本指標は、投資家の理解にとって、当社の非中核事業及び投資ポートフォリオの戦略的な売却がどのようにキャッシュ・フローや流動性に貢献しているかを理解するうえで有用であると考えています。

当社のフリー・キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローから、有形固定資産の取得、無形資産の取得、投資の取得及び即時的または一般的な業務用に使用できないいかなるその他の現金を控除し、有形固定資産の売却による収入、投資や事業の売却による収入、売却による現金及び現金同等物の純額を加算し、調整しています。

フリー・キャッシュ・フローの有益性には、一例として、以下の限界があります。すなわち、(i) 製薬業界における他社を含む、他社において用いられている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠け得るものです、(ii) 当社の、資本の使用又は配分を必要とする現在及び将来の契約上その他のコミットメントの影響は反映されていません、(iii) 投資や事業の売却による収入、売却による現金及び現金同等物の純額の加算分は、中核事業となる継続的な事業からの収入は反映していません。フリー・キャッシュ・フローは、IFRSに基づく指標である営業活動によるキャッシュ・フロー及びその他の流動性指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替ととらえられてはならないものです。IFRSに準拠した指標の中で、フリー・キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローが最も類似します。

便宜的な米ドル換算

財務補足情報における一部日本円表示の米ドルへの換算は、読者に対して便宜的に表示するためのものであり、ニューヨーク連邦準備銀行によって認証されている2023年12月29日時点の換算レート「Noon Buying Rate : １米ドル140.92円」で換算しております。便宜的な米ドル換算に用いられている換算レートおよび方法は、要約四半期連結財務諸表の作成で用いられた国際会計基準（IFRS）に準拠した換算レートおよび方法とは異なります。また、これらの米ドル換算は、円貨額が上記もしくはそれ以外の換算レートを用いて米ドルへ転換できるということを意味するものではありません。

EBITDA、調整後EBITDA、純有利子負債の定義

EBITDA及び調整後EBITDA

当社がEBITDA及び調整後EBITDAをお示しする理由は、これらの指標が証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行う際に頻繁に用いられるものであり、有用と考えられることにあります。また、調整後EBITDAは、変化に富み予測が困難であるが故に経営とは無関係な諸要素により不透明となり、業績に実質的な影響を与え得る、また、継続的に期間毎の業績を評価することに困難にし得る事業全体の動向を、投資家の皆様が把握する際に有用と考えられます。

EBITDA及び調整後EBITDAは、IFRSに基づく指標である営業利益及び当期利益等の業績指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替ととらえられてはならないものです。これらの指標は、他社において示されている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠け得ます。

EBITDA及び調整後EBITDAの有益性には、一例として、以下の限界があります。すなわち、(i)製薬業界における他社を含む、他社において用いられている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠け得るものです。また、(ⅱ)業績評価において重視され得る一定の財務情報、例えば、企業買収や無形資産の償却による影響を除外しております。さらに、(ⅲ)一定期間において継続して生じ得る一定の事項を除外しており、また、(ⅳ)投資家において当社の長期的な観点からの経営には無関係ととらえる事項を必ずしも除外しておりません。これらのIFRSに準拠しない財務指標は、IFRSに準拠する当期利益（損失）と同視してはならず、また、これらに代わるものととらえてはなりません。投資家の皆様におかれましては、当社の財務諸表全体を把握し、当社業績、事業価値及び収益予想を評価する基礎となる指標としてはIFRS準拠財務指標に依拠し、また、EBITDA及び調整後EBITDAは補足的な指標として用いられるようお願い申し上げます。

当社においては、EBITDAは、法人所得税費用、減価償却費及び償却費、並びに純支払利息控除前の連結当期利益を指します。また、調整後EBITDAは、減損損失、その他の営業収益・費用（減価償却費及び償却費を除く）、金融収益・費用（純支払利息を除く）、持分法による投資損益及び企業結合会計影響や取引関連費用などの当社の中核事業に関連しないその他の項目を除外するように調整されたEBITDAを指します。

IFRSに準拠した指標の中では当期利益が最も類似します。IFRSにおいて最も類似した指標との照合については、当期利益からEBITDA/調整後EBITDAへの調整をご参照下さい。

純有利子負債

当社が、純有利子負債をお示しする理由は、当社の経営陣が、当社の現金及び現金同等物控除後の負債をモニター及び分析するために本指標を使用し、また当社のレバレッジをモニターするために本指標を調整後EBITDAと併せて使用しており、投資家の皆様にとって有用であると考えているためです。また、負債についての同様の指標が、証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行うに際して頻繁に用いられるものであると考えています。
当社の純有利子負債は、以下により算出しています。まず、連結財政状態計算書に記載されている社債及び借入金の流動部分と非流動部分合計を計算します。その上で、(i) 期初に残存する外貨建て負債を直近12か月の期中平均レートを用いて換算し、報告期間中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については対応するスポットレートを用いて換算するものであり、当社の経営陣が当社のレバレッジをモニターするために使用する方法論を反映しています。また、(ii) S&Pグローバル・レーティング・ジャパンの格付手法に基づく株式に似た特徴を評価して、S&Pグローバル・レーティング・ジャパンが2019年6月に発行したハイブリッド債（劣後債）の元本総額5,000億円に対して、50%のエクイティクレジットを適用しています。この数字から、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関係して当社が第三者に代わり一時的に保有していた現金を除いた現金及び現金同等物、およびその他の金融資産に計上され公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資を控除し、純有利子負債を算出しています。

純有利子負債の有益性には、一例として、以下の限界があります。すなわち、(i) 製薬業界における他社を含む、他社において用いられている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠け得るものです、(ii) 当社の負債に支払われる利息の金額を反映していません、(iii) 当社の負債に対する当社の前払い能力又は償還能力の制限を反映していません、(iv) 当社が現金同等物を現金に換金する際に、ある通貨から他の通貨に換金する際に、又は当社グループ内で現金を移動する際に、当社が負担する可能性のある手数料、費用又はその他の費用を反映していません、(v) 有利子負債には、当社のローン契約と整合性のある平均為替レートが適用されますが、これは当社がある通貨を他の通貨に換金することができる実際の為替レートを反映していません、(vi) 当社は合理的であると考えていますが、当社の劣後債の金額はそれらの負債性に影響を及ぼさないことから、エクイティクレジットを反映しています。純有利子負債は、IFRSに基づく指標である社債、借入金及びその他の負債指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替ととらえられてはならないものです。

IFRSに準拠した指標の中で、純有利子負債は社債と借入金が最も類似します。IFRSにおいて最も類似した指標との照合については、純有利子負債/調整後EBITDAをご参照下さい。

2023年度第3四半期累計 財務ベース業績　（CERベース増減率を含む）

(億円、EPS以外)	2022年度 第3四半期累計	2023年度 第3四半期累計	対前年同期			(百万米ドル、EPS以外) 2023年度 第3四半期累計 便宜的な米ドル換算
			AERベース		CERベース	
			増減額	増減率	増減率	
売上収益	30,713	32,129	1,416	4.6 %	0.0 %	22,799
売上原価	△9,343	△10,442	△1,099	△11.8 %	△6.8 %	△7,410
売上総利益	21,370	21,687	317	1.5 %	△3.0 %	15,390
対売上収益比率	*69.6 %*	*67.5 %*		*△2.1 pp*	*△2.1 pp*	*67.5 %*
販売費及び一般管理費	△7,425	△7,686	△261	△3.5 %	1.3 %	△5,454
研究開発費	△4,724	△5,341	△617	△13.1 %	△7.3 %	△3,790
製品に係る無形資産償却費	△3,706	△3,877	△171	△4.6 %	1.4 %	△2,751
製品(注1)に係る無形資産減損損失	△386	△1,193	△807	△208.9 %	△186.0 %	△847
その他の営業収益	167	108	△59	△35.4 %	△35.7 %	76
その他の営業費用	△1,276	△1,457	△180	△14.1 %	△9.1 %	△1,034
営業利益	4,019	2,241	△1,778	△44.2 %	△42.9 %	1,591
対売上収益比率	*13.1 %*	*7.0 %*		*△6.1 pp*	*△5.6 pp*	*7.0 %*
金融収益	551	461	△90	△16.4 %	△17.1 %	327
金融費用	△1,268	△1,727	△459	△36.2 %	△36.6 %	△1,225
持分法による投資損益	△31	27	59	—	—	19
税引前四半期利益	3,272	1,003	△2,269	△69.3 %	△67.9 %	712
法人所得税費用	△413	469	882	—	—	333
四半期利益	2,859	1,472	△1,387	△48.5 %	△50.1 %	1,045
非支配持分	△0	△1	△1	△449.6 %	△439.4 %	△1
四半期利益（親会社の所有者持分）	2,859	1,471	△1,388	△48.6 %	△50.1 %	1,044
基本的 EPS（円または米ドル）	184.32	94.10	△90.22	△48.9 %	△50.5 %	0.67

（注１）　仕掛研究開発品を含む

前年同期に対する、国際会計基準に準拠した実勢レート（Actual Exchange Rate）ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準に準拠しない恒常為替レート（Constant Exchange Rate）ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。「CERベースの増減」の定義については、A-1「Core財務指標、CERベースの増減、フリー・キャッシュ・フロー、便宜的な米ドル換算の定義」をご参照ください。

対前年同期の増減率（%）は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

2023年度第3四半期（10-12月） 財務ベース業績　（CERベース増減率を含む）

(億円、EPS以外)	2022年度 第3四半期 (10-12月)	2023年度 第3四半期 (10-12月)	対前年同期 AERベース 増減額	対前年同期 AERベース 増減率	対前年同期 CERベース 増減率	(百万米ドル、EPS以外) 2023年度 第3四半期(10-12月) 便宜的な米ドル換算
売上収益	10,966	11,112	146	1.3 %	△2.6 %	7,885
売上原価	△3,360	△3,795	△435	△13.0 %	△8.3 %	△2,693
売上総利益	7,606	7,317	△289	△3.8 %	△7.4 %	5,192
対売上収益比率	*69.4 %*	*65.8 %*		*△3.5 pp*	*△3.4 pp*	*65.8 %*
販売費及び一般管理費	△2,623	△2,675	△52	△2.0 %	2.1 %	△1,898
研究開発費	△1,746	△1,874	△128	△7.3 %	△3.2 %	△1,330
製品に係る無形資産償却費	△1,298	△1,338	△40	△3.1 %	1.1 %	△949
製品(注1)に係る無形資産減損損失	△58	△36	22	38.6 %	42.0 %	△25
その他の営業収益	32	9	△23	△72.1 %	△70.0 %	6
その他の営業費用	△443	△354	88	20.0 %	25.0 %	△252
営業利益	1,470	1,049	△421	△28.6 %	△29.5 %	744
対売上収益比率	*13.4 %*	*9.4 %*		*△4.0 pp*	*△3.7 pp*	*9.4 %*
金融収益	417	225	△191	△45.9 %	△46.2 %	160
金融費用	△797	△673	124	15.6 %	16.5 %	△478
持分法による投資損益	△18	11	29	—	—	8
税引前四半期利益	1,072	613	△459	△42.8 %	△43.5 %	435
法人所得税費用	120	445	325	270.9 %	276.1 %	316
四半期利益	1,191	1,058	△134	△11.2 %	△11.3 %	750
非支配持分	△0	△0	△0	△61.1 %	△59.8 %	△0
四半期利益（親会社の所有者持分）	1,191	1,057	△134	△11.3 %	△11.3 %	750
基本的 EPS（円または米ドル）	76.63	67.38	△9.25	△12.1 %	△12.1 %	0.48

（注１）　仕掛研究開発品を含む

前年同期に対する、国際会計基準に準拠した実勢レート（Actual Exchange Rate）ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準に準拠しない恒常為替レート（Constant Exchange Rate）ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。「CERベースの増減」の定義については、A-1「Core財務指標、CERベースの増減、フリー・キャッシュ・フロー、便宜的な米ドル換算の定義」をご参照ください。

対前年同期の増減率（%）は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

2023年度第3四半期累計 Core業績　（CERベース増減率を含む）

(億円、EPS以外)	2022年度 第3四半期累計	2023年度 第3四半期累計	対前年同期			(百万米ドル、EPS以外) 2023年度 第3四半期累計 便宜的な米ドル換算
			AERベース		CERベース	
			増減額	増減率	増減率	
売上収益	30,713	32,129	1,416	4.6 %	0.0 %	22,799
売上原価	△9,017	△10,442	△1,426	△15.8 %	△10.7 %	△7,410
売上総利益	21,696	21,687	△10	△0.0 %	△4.4 %	15,389
対売上収益比率	*70.6 %*	*67.5 %*		*△3.1 pp*	*△3.1 pp*	*67.5 %*
販売費及び一般管理費	△7,429	△7,691	△261	△3.5 %	1.3 %	△5,457
研究開発費	△4,721	△5,341	△620	△13.1 %	△7.3 %	△3,790
営業利益	9,547	8,656	△891	△9.3 %	△12.7 %	6,142
対売上収益比率	*31.1 %*	*26.9 %*		*△4.1 pp*	*△3.9 pp*	*26.9 %*
金融収益	92	456	364	398.2 %	394.5 %	324
金融費用	△1,142	△1,529	△387	△33.9 %	△28.3 %	△1,085
持分法による投資損益	25	44	19	74.8 %	74.9 %	31
税引前四半期利益	8,521	7,626	△895	△10.5 %	△13.5 %	5,412
法人所得税費用	△1,449	△1,189	260	17.9 %	20.0 %	△844
四半期利益	7,072	6,437	△635	△9.0 %	△12.2 %	4,568
非支配持分	△0	△1	△1	△449.6 %	△439.4 %	△1
四半期利益（親会社の所有者持分）	7,072	6,436	△636	△9.0 %	△12.2 %	4,567
基本的 EPS（円または米ドル）	456	412	△44	△9.7 %	△12.9 %	2.92

前年同期に対する、国際会計基準に準拠した実勢レート（Actual Exchange Rate）ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準に準拠しない恒常為替レート（Constant Exchange Rate）ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。「CERベースの増減」の定義については、A-1「Core財務指標、CERベースの増減、フリー・キャッシュ・フロー、便宜的な米ドル換算の定義」をご参照ください。

対前年同期の増減率（%）は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

2023年度第3四半期（10-12月） Core業績　（CERベース増減率を含む）

(億円、EPS以外)	2022年度 第3四半期 (10-12月)	2023年度 第3四半期 (10-12月)	対前年同期			(百万米ドル、EPS以外) 2023年度 第3四半期(10-12月) 便宜的な米ドル換算
			AERベース		CERベース	
			増減額	増減率	増減率	
売上収益	10,966	11,112	146	1.3 %	△2.6 %	7,885
売上原価	△3,301	△3,794	△493	△14.9 %	△10.2 %	△2,692
売上総利益	7,664	7,318	△346	△4.5 %	△8.1 %	5,193
対売上収益比率	*69.9 %*	*65.9 %*		*△4.0 pp*	*△3.9 pp*	*65.9 %*
販売費及び一般管理費	△2,624	△2,676	△52	△2.0 %	2.1 %	△1,899
研究開発費	△1,746	△1,874	△128	△7.3 %	△3.3 %	△1,330
営業利益	3,295	2,768	△527	△16.0 %	△18.8 %	1,964
対売上収益比率	*30.0 %*	*24.9 %*		*△5.1 pp*	*△5.0 pp*	*24.9 %*
金融収益	395	216	△179	△45.3 %	△45.4 %	153
金融費用	△762	△651	112	14.6 %	15.1 %	△462
持分法による投資損益	△2	21	22	—	—	15
税引前四半期利益	2,925	2,354	△571	△19.5 %	△22.6 %	1,670
法人所得税費用	△320	5	326	—	—	4
四半期利益	2,605	2,359	△246	△9.4 %	△9.5 %	1,674
非支配持分	△0	△0	△0	△61.1 %	△59.8 %	△0
四半期利益（親会社の所有者持分）	2,605	2,359	△246	△9.4 %	△9.5 %	1,674
基本的 EPS（円または米ドル）	168	150	△17	△10.3 %	△10.3 %	1.07

前年同期に対する、国際会計基準に準拠した実勢レート（Actual Exchange Rate）ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準に準拠しない恒常為替レート（Constant Exchange Rate）ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。「CERベースの増減」の定義については、A-1「Core財務指標、CERベースの増減、フリー・キャッシュ・フロー、便宜的な米ドル換算の定義」をご参照ください。

対前年同期の増減率（%）は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

2023年度第3四半期累計 財務ベースからCoreへの調整表

（億円、EPSおよび株式数以外）	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整				CORE
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益／費用	その他	
売上収益	32,129					32,129
売上原価	△10,442				△1	△10,442
売上総利益	21,687				△1	21,687
販売費及び一般管理費	△7,686				△5	△7,691
研究開発費	△5,341				0	△5,341
製品に係る無形資産償却費	△3,877	3,877				—
製品 (注1) に係る無形資産減損損失	△1,193		1,193			—
その他の営業収益	108			△108		—
その他の営業費用	△1,457			1,457		—
営業利益	2,241	3,877	1,193	1,349	△5	8,656
対売上収益比率	7.0%					26.9%
金融収益及び費用（純額）	△1,266				193	△1,073
持分法による投資損益	27				16	44
税引前四半期利益	1,003	3,877	1,193	1,349	204	7,626
法人所得税費用	469	△825	△264	△318	△251	△1,189
非支配持分	△1					△1
四半期利益（親会社の所有者持分）	1,471	3,052	929	1,031	△47	6,436
基本的EPS（円）	94					412
株式数（百万）	1,563					1,563

（注１） 仕掛研究開発品を含む

2023年度第3四半期（10-12月） 財務ベースからCoreへの調整表

（億円、EPSおよび株式数以外）	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整				CORE
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益／費用	その他	
売上収益	11,112					11,112
売上原価	△3,795				1	△3,794
売上総利益	7,317				1	7,318
販売費及び一般管理費	△2,675				△1	△2,676
研究開発費	△1,874				0	△1,874
製品に係る無形資産償却費	△1,338	1,338				—
製品 (注1) に係る無形資産減損損失	△36		36			—
その他の営業収益	9			△9		—
その他の営業費用	△354			354		—
営業利益	1,049	1,338	36	346	△0	2,768
対売上収益比率	9.4%					24.9%
金融収益及び費用（純額）	△448				13	△435
持分法による投資損益	11				9	21
税引前四半期利益	613	1,338	36	346	22	2,354
法人所得税費用	445	△284	△8	△153	5	5
非支配持分	△0					△0
四半期利益（親会社の所有者持分）	1,057	1,053	28	193	28	2,359
基本的EPS（円）	67					150
株式数（百万）	1,569					1,569

（注１） 仕掛研究開発品を含む

2022年度第3四半期累計 財務ベースからCoreへの調整表

（億円、EPSおよび株式数以外）	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整				CORE
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益／費用	その他	
売上収益	30,713					30,713
売上原価	△9,343				326	△9,017
売上総利益	21,370				326	21,696
販売費及び一般管理費	△7,425				△4	△7,429
研究開発費	△4,724				3	△4,721
製品に係る無形資産償却費	△3,706	3,706				—
製品 (注1) に係る無形資産減損損失	△386		386			—
その他の営業収益	167			△167		—
その他の営業費用	△1,276			1,276		—
営業利益	4,019	3,706	386	1,110	325	9,547
対売上収益比率	13.1%					31.1%
金融収益及び費用（純額）	△ 716				△334	△1,050
持分法による投資損益	△31				56	25
税引前四半期利益	3,272	3,706	386	1,110	48	8,521
法人所得税費用	△413	△794	△82	△241	80	△1,449
非支配持分	△0					△0
四半期利益（親会社の所有者持分）	2,859	2,912	304	869	128	7,072
基本的EPS（円）	184					456
株式数（百万）	1,551					1,551

（注１） 仕掛研究開発品を含む

2022年度第3四半期（10-12月） 財務ベースからCoreへの調整表

（億円、EPSおよび株式数以外）	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整				CORE
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益／費用	その他	
売上収益	10,966					10,966
売上原価	△ 3,360				59	△ 3,301
売上総利益	7,606				59	7,664
販売費及び一般管理費	△ 2,623				△ 1	△ 2,624
研究開発費	△ 1,746				1	△ 1,746
製品に係る無形資産償却費	△ 1,298	1,298				—
製品 (注1) に係る無形資産減損損失	△ 58		58			—
その他の営業収益	32			△ 32		—
その他の営業費用	△ 443			443		—
営業利益	1,470	1,298	58	411	58	3,295
対売上収益比率	13.4%					30.0%
金融収益及び費用（純額）	△ 381				13	△ 368
持分法による投資損益	△ 18				16	△ 2
税引前四半期利益	1,072	1,298	58	411	87	2,925
法人所得税費用	120	△ 279	△ 12	△ 110	△ 40	△ 320
非支配持分	△ 0					△ 0
四半期利益（親会社の所有者持分）	1,191	1,019	46	301	47	2,605
基本的EPS（円）	77					168
株式数（百万）	1,555					1,555

（注１） 仕掛研究開発品を含む

2023年度第3四半期累計 フリー・キャッシュ・フロー

（億円）	2022年度 第3四半期累計	2023年度 第3四半期累計	対前年同期		（百万米ドル） 2023年度 第3四半期累計 便宜的な米ドル換算
当期利益	2,859	1,472	△1,387	△48.5%	1,045
減価償却費、償却費及び減損損失	5,450	6,755	1,306		4,794
運転資本増減（△は増加）	△1,724	△1,667	57		△1,183
法人税等の支払額	△1,734	△1,793	△59		△1,272
法人所得税等の還付及び還付加算金の受取額	83	130	47		92
その他	1,900	△520	△2,420		△369
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,835	4,378	△2,457	△36.0%	3,106
当社が第三者に代わり一時的に保有していたキャッシュの調整 (注1)	762	96	△666		68
有形固定資産の取得による支出	△1,049	△1,309	△260		△929
有形固定資産の売却による収入	1	86	85		61
無形資産の取得による支出	△847	△2,855	△2,008		△2,026
投資の取得による支出	△54	△47	7		△34
投資の売却、償還による収入	206	11	△195		8
事業売却による収入（処分した現金及び現金同等物控除後）	—	4	4		3
フリー・キャッシュ・フロー	5,852	363	△5,489	△93.8%	257

（注1）一時的なキャッシュの調整は、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関係して当社が第三者に代わり一時的に保有していた現金の変動を指します。

2023年度第3四半期累計 純有利子負債/調整後EBITDA

純有利子負債/調整後EBITDA倍率

（億円）	2023年度 第3四半期累計
現金及び現金同等物およびレベル１に区分される債券投資 (注1)	1,722
連結財政状態計算書上の負債簿価	△46,642
ハイブリッド社債の50%資本性認定	2,500
為替調整 (注2)	530
有利子負債 (注3)	△43,612
純有利子負債	**△41,890**
純有利子負債/調整後EBITDA倍率	**3.1x**
調整後EBITDA（LTM） (注4)	**13,589**

キャッシュの純増減

（億円）	2022年度 第3四半期累計	2023年度 第3四半期累計	対前年同期	
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,835	4,378	△2,457	△36.0%
有形固定資産の取得による支出	△1,049	△1,309		
有形固定資産の売却による収入	1	86		
無形資産の取得による支出	△847	△2,855		
投資の取得による支出	△54	△47		
投資の売却、償還による収入	206	11		
事業売却による収入 （処分した現金及び現金同等物控除後）	―	4		
短期借入金及びコマーシャルペーパーの純増加額	―	2,800		
長期借入れによる収入	―	1,000		
長期借入金の返済による支出	△1	△1,003		
社債の償還による支出	△2,815	△2,205		
社債に係る金利通貨スワップの決済による収入	―	601		
自己株式の取得による支出	△269	△23		
利息の支払額	△866	△787		
配当金の支払額	△2,690	△2,781		
その他	△327	△477		
現金の増減額（△は減少）	△1,877	△2,608	△731	△39.0%

（注1）ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関係して当社が第三者に代わり一時的に保有していた現金を除いた現金及び現金同等物、およびその他の金融資産に計上され公正価値ヒエラルキーのレベル１に区分される債券投資を指します。
2023年度第１四半期より、その他の金融資産に計上され公正価値ヒエラルキーのレベル１に区分される債券投資を、純有利子負債の計算における有利子負債からの控除項目に含めております。なお、同様の方法を用いて計算した場合においても2022年度末およびそれ以前の会計期間における純有利子負債に変更はありません。

（注2）期中平均レートで換算される調整後EBITDA計算と整合させるため、期初から期中残存する外貨建て負債を期中平均レートを用いて換算しております。
報告期間中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については当該日の対応するスポットレートを用いて換算しております。

（注3）流動・非流動の社債および借入金。2019年6月に5,000億円のハイブリッド債を発行、格付け機関から認定された50%の資本性である2,500億円を負債から控除しております。
また、負債償却と為替影響に関連した非資金性の調整を含みます。

（注4）2023年12月までの過去12ヶ月（LTM: Last Twelve Months）を示しており、2022年度通期から2022年度第3四半期累計を控除し、2023年度第3四半期累計を加算して算出しております。

2022年度 純有利子負債/調整後EBITDA

純有利子負債/調整後EBITDA倍率

（億円）	2022年度
現金および現金同等物 (注1)	4,077
連結財政状態計算書上の負債簿価	△43,823
ハイブリッド社債の50%資本性認定	2,500
為替調整 (注2)	85
有利子負債 (注3)	△41,239
純有利子負債	**△37,161**
TAK-279の取得に関連する一時金支払 (注4)	4,004
純有利子負債（TAK-279の取得に関連する一時金を除く）	**△33,157**
純有利子負債/調整後EBITDA倍率	**2.6x**
純有利子負債/調整後EBITDA倍率（TAK-279の取得に関連する一時金を除く）	**2.3x**
調整後EBITDA	**14,218**

キャッシュの純増減

（億円）	2021年度	2022年度	対前年度	
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,231	9,772	△1,459	△13.0%
有形固定資産の取得による支出	△1,233	△1,407		
有形固定資産の売却による収入	18	10		
無形資産の取得による支出	△628	△4,930		
投資の取得による支出	△83	△102		
投資の売却、償還による収入	169	223		
事業取得による支出（取得した現金及び現金同等物控除後）	△497	―		
事業売却による収入（処分した現金及び現金同等物控除後）	282	80		
短期借入金及びコマーシャルペーパーの純減少額	△0	400		
長期借入れによる収入	―	750		
長期借入金の返済による支出	△4,141	△752		
社債の発行による収入	2,493	―		
社債の償還による支出	△3,960	△2,815		
自己株式の取得による支出	△775	△269		
利息の支払額	△1,082	△1,086		
配当金の支払額	△2,837	△2,794		
その他	△411	△470		
現金の増減額（△は減少）	△1,453	△3,391	△1,938	△133.4%

（注1）各期末日の翌日から１年以内に償還期限の到来する短期投資を含み、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関係して当社が第三者に代わり保有していた現金を除きます。

（注2）期中平均レートで換算される調整後EBITDA計算と整合させるため、期初から期中残存する外貨建て負債を期中平均レートを用いて換算しております。
報告期間中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については当該日の対応するスポットレートを用いて換算しております。

（注3）流動・非流動の社債および借入金。2019年6月に5,000億円のハイブリッド債を発行、格付け機関から認定された50%の資本性である2,500億円を負債から控除しております。
また、負債償却と為替影響に関連した非資金性の調整を含みます。

（注4）当項目は、2023年2月にTAK-279の取得に関連する一時金として支払った40億米ドルの一部である30億米ドルを、2023年３月31日期末為替レートである１米ドル133.48円を用いて日本円に換算しております。

2023年度第3四半期累計 当期利益からEBITDA/調整後EBITDAへの調整

（億円）	2022年度 第3四半期累計	2023年度 第3四半期累計	対前年同期	
当期利益	2,859	1,472	△1,387	△48.5%
法人所得税費用	413	△469		
減価償却費及び償却費	5,030	5,413		
純支払利息	860	820		
EBITDA	9,162	7,236	△1,926	△21.0%
減損損失	420	1,343		
その他の営業収益・費用（減価償却費、償却費及びその他の非資金項目を除く）	1,054	1,164		
金融収益・費用（純支払利息を除く）	△144	446		
持分法による投資損益	31	△27		
その他の調整項目	772	505		
COVID-19に係る非中核費用	84	—		
Shire社の買収で取得した棚卸資産の公正価値調整による利益への影響	249	—		
その他の費用 (注1)	439	505		
調整後EBITDA	11,295	10,666	△629	△5.6%

（注1）株式報酬にかかる非資金性の費用とその他の一過性の非資金性の費用の調整を含みます。

2023年度第3四半期累計 当期利益からEBITDA/調整後EBITDA（LTM）への調整

（億円）	2022年度 通期 （4-3月）	2022年度 第3四半期累計 （4-12月）	2023年度 第3四半期累計 （4-12月）	2023年度 第3四半期累計 LTM（注1） （1-12月）
当期利益	3,170	2,859	1,472	1,783
法人所得税費用	581	413	△469	△301
減価償却費及び償却費	6,644	5,030	5,413	7,027
純支払利息	1,115	860	820	1,074
EBITDA	11,510	9,162	7,236	9,583
減損損失	644	420	1,343	1,567
その他の営業収益・費用（減価償却費、償却費及びその他の非資金項目を除く）	1,090	1,054	1,164	1,200
金融収益・費用（純支払利息を除く）	△47	△144	446	543
持分法による投資損益	86	31	△27	28
その他の調整項目	935	772	505	668
COVID-19に係る非中核費用	99	84	—	16
Shire社の買収で取得した棚卸資産の公正価値調整による利益への影響	249	249	—	—
その他の費用（注2）	587	439	505	652
調整後EBITDA	14,218	11,295	10,666	13,589

（注1）2023年12月までの過去12ヶ月（LTM: Last Twelve Months）を示しており、2022年度通期から2022年度第3四半期累計を控除し、2023年度第3四半期累計を加算して算出しています。

（注2）株式報酬にかかる非資金性の費用とその他の一過性の非資金性の費用の調整を含みます。

2023年度第3四半期累計 資本的支出、減価償却費及び償却費、減損損失

（億円）	2022年度 第3四半期累計	2023年度 第3四半期累計	対前年同期		2023年度直近公表予想
資本的支出 (注１)	1,896	4,164	2,268	119.6%	4,800 - 5,300 (注4)
有形固定資産の増加額	1,049	1,309	260	24.8%	
無形資産の増加額	847	2,855	2,008	237.0%	
減価償却費及び償却費	5,030	5,413	383	7.6%	6,800
有形固定資産の減価償却費 (注2) (A)	1,133	1,298	165	14.6%	
無形資産の償却費 (B)	3,897	4,114	218	5.6%	
うち、製品に係る償却費 (C)	3,706	3,877	171	4.6%	5,000
うち、製品以外に係る償却費 (D)	191	238	47	24.4%	
減価償却費及び償却費 （製品に係る償却費を除く）(A)+(D)	1,324	1,536	212	16.0%	1,800
減損損失	420	1,343	923	220.0%	
うち、製品 (注3) に係る減損損失	386	1,193	807	208.9%	1,200
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	4,092	5,070	978	23.9%	6,200

（注1）キャッシュベース

（注2）投資不動産に係る減価償却費を含む。

（注3）仕掛研究開発品を含む。

（注4）2023年度の直近公表予想には、Nimbus社からのTAK-279の取得およびHUTCHMED社からのFRUZAQLA（フルキンチニブ）のライセンス権の取得に関連する支出を反映しています。

2023年度業績予想（詳細） - 2023年10月26日公表より変更なし

（億円）		2022年度 実績	2023年度 直近公表予想 （2023年10月26日）	2023年度 直近公表予想 対前年度増減率
財務ベース	売上収益	40,275	39,800	△1.2%
	研究開発費	△6,333	△6,800	△7.4%
	製品に係る無形資産償却費	△4,851	△5,000	△3.1%
	製品（注1）に係る無形資産減損損失	△573	△1,200	△109.3%
	その他の営業収益	254	140	△44.9%
	その他の営業費用	△1,452	△1,800	△23.9%
	営業利益	4,905	2,250	△54.1%
	金融収益及び費用（純額）	△1,068	△1,570	△47.0%
	税引前当期利益	3,751	700	△81.3%
	当期利益（親会社の所有者持分）	3,170	930	△70.7%
	基本的EPS (円)	204	59	△70.9%
	Core売上収益（注2）	40,275	39,800	△1.2%
	Core営業利益（注2）	11,884	10,150	△14.6%
	Core EPS (円)	558	447	△19.9%
	フリー・キャッシュ・フロー（注3）	4,462	4,000 ～ 5,000	
	資本的支出（キャッシュ・フロー・ベース）（注3）	△6,337	△4,800 ～ △5,300	
	有形固定資産の減価償却費及び無形資産償却費 （製品に係る無形資産償却費を除く）	△1,793	△1,800	△0.4%
	調整後EBITDAに対する現金税金の税率 （事業売却を除く）	約13%	10%台半ば（注4）	
	米ドル/円	135	137	1.6%
	ユーロ/円	141	145	3.1%

（注1）仕掛研究開発品を含む。
（注2）定義はA-1「Core財務指標、CERベースの増減、フリー・キャッシュ・フロー、便宜的な米ドル換算の定義」を、調整表はA-18「2023年度業績予想 財務ベース営業利益からCore営業利益への調整表」をご参照ください。
（注3）2023年度の直近公表予想には、Nimbus社からのTAK-279の取得およびHUTCHMED社からのFRUZAQLA（フルキンチニブ）のライセンス権の取得に関連する支出を反映しています。
（注4）「10%台半ばから後半」から「10%台半ば」に調整しています（2024年2月1日）。

2023年度業績予想 財務ベース営業利益からCore営業利益への調整表

（億円）	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整				Core
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益及び営業費用	その他	
売上収益	39,800					39,800
売上原価						
売上総利益						
販売費及び一般管理費及び研究開発費					40	
製品に係る無形資産償却費	△5,000	5,000				―
製品（注１）に係る無形資産減損損失	△1,200		1,200			―
その他の営業収益	140			△140		―
その他の営業費用	△1,800			1,800		―
営業利益	2,250	5,000	1,200	1,660	40	10,150

（注１）仕掛研究開発品を含む。

2023年度前提為替レートおよび通期予想に対する為替感応度

平均レート（円）				為替円安影響（2023年4月～2024年3月）（億円）				
	2022年度 第3四半期 実績 （4-12月）	2023年度 第3四半期 実績 （4-12月）	2023年度 前提 （4-3月）		売上収益 （国際会計基準）	営業利益 （国際会計基準）	当期利益 （国際会計基準）	Core営業利益 （国際会計基準に 非準拠）
米ドル	136	143	137	1％為替円安影響	207.0	15.4	5.8	65.1
				1円為替円安影響	151.1	11.2	4.2	47.5
ユーロ	140	155	145	1％為替円安影響	57.2	△37.4	△32.5	△30.3
				1円為替円安影響	39.5	△25.8	△22.4	△20.9
ロシアルーブル	2.2	1.6	1.6	1％為替円安影響	4.4	2.6	2.0	3.0
中国元	19.8	20.0	19.8		17.3	10.1	7.8	10.1
ブラジルレアル	26.5	28.9	28.5		10.9	7.0	5.4	7.1

Better Health, Brighter Future

© 2023 Takeda Pharmaceutical Company Limited. All rights reserved.